

山口市の国際交流

1979－2025

山口市 国際交流課

は し が き

地域の国際化の進展の中で、山口市はスペイン王国のパンプローナ市、中華人民共和国の済南市、韓国の公州市、昌原市との姉妹・友好都市協定、中華人民共和国の鄒平市との友好交流促進についての議定書、フィンランド共和国ロヴァニエミ市との観光交流パートナーシップ協定の締結に加えて、新たにアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市との友好交流の提携に向けて調整を進めるなど、様々な交流事業を通して、市民の皆様とともに友好親善と相互理解を深めながら、多文化共生社会の構築に向けて、国際感覚を備えた地域リーダーの育成とひとづくりに取り組んでまいりました。

近年におけるグローバル化が進展し、国際化を取り巻く状況はこれまで以上に複雑化・多様化し、交流分野も、文化・スポーツ交流から技術・経済交流、ひいては国際協力など幅広い分野に深化しており、国際交流にかかる市民の皆様のご理解とご協力は、以前に増して重要となっています。

この冊子は、山口市の国際交流の歩みを紹介するために作成しております。
市民の皆様の山口市国際交流事業への御理解の一助となれば幸いです。

2025年3月

山口市国際交流課

目 次

は し が き	1
目 次	2
昭和 54 年(1979 年)	4
昭和 55 年(1980 年)	5
昭和 56 年(1981 年)	6
昭和 57 年(1982 年)	7
昭和 58 年(1983 年)	8
昭和 59 年(1984 年)	9
昭和 60 年(1985 年)	10
昭和 61 年(1986 年)	11
昭和 62 年(1987 年)	13
昭和 63 年(1988 年)	15
平成元年(1989 年)	17
平成 2 年(1990 年)	19
平成 3 年(1991 年)	21
平成 4 年(1992 年)	23
平成 5 年(1993 年)	27
平成 6 年(1994 年)	30
パンプローナ市 姉妹都市締結 15 周年記念行事(1995 年)	33
済南市 友好都市締結 10 周年記念行事(1995 年)	34
平成 7 年(1995 年)	35
平成 8 年(1996 年)	37
平成 9 年(1997 年)	39
平成 10 年(1998 年)	41
平成 11 年(1999 年)	44
平成 12 年(2000 年)	46

平成 13 年(2001 年)	48
平成 14 年(2002 年)	49
平成 15 年(2003 年)	51
平成 16 年(2004 年)	53
平成 17 年(2005 年)	55
郷平県との交流(旧小郡町)	56
平成 17 年(2005 年)	60
平成 18 年(2006 年)	61
平成 19 年(2007 年)	63
平成 20 年(2008 年)	65
平成 21 年(2009 年)	68
平成 22 年(2010 年)	70
平成 23 年(2011 年)	73
平成 24 年(2012 年)	75
平成 25 年(2013 年)	77
平成 26 年(2014 年)	81
平成 27 年(2015 年)	83
平成 28 年(2016 年)	86
平成 29 年(2017 年)	88
平成 30 年(2018 年)	91
平成 31 年(2019 年)	94
令和 1 年(2019 年)	94
令和 2 年(2020 年)	96
令和 3 年(2021 年)	98
令和 4 年(2022 年)	102
令和 5 年(2023 年)	104
令和 6 年(2024 年)	108
令和 7 年(2025 年)	112

昭和 54 年(1979 年)

1 月 28 日から 2 月 6 日

国際的な親善訪問先として、山口市と歴史的関係のあるスペイン国パンプローナ市が選ばれ、市制 50 周年記念式典への参加要請と今後の親善友好を進めていくため、訪問団（団長堀泰夫市長以下 14 名）がパンプローナ市を訪問、全市あげての大歓迎を受け、快く式典出席の承諾を得る。

4 月 8 日から 4 月 10 日

パンプローナ市から、ベラスコ・イリアルテ市長以下 6 名が来山。

4 月 10 日の山口市制施行 50 周年記念式典において、「これを機会に、なお一層友好の絆を深めていきたい」と、祝辞を述べる。

昭和 55 年(1980 年)

2 月 15 日から 2 月 24 日

山口市とパンプローナ市との姉妹都市盟約調印のため、使節団（団長中野正市議会議長以下 17 名）がパンプローナ市を訪問。

2 月 19 日、パンプローナ市役所 3 階会堂において調印が行われた。

3 月 28 日から 3 月 31 日

パンプローナ市との調印を祝し、「現代スペイン絵画展」がちまきや百貨店にて開催される。

4 月 7 日

山口市とパンプローナ市民の文通が始まる。

4 月 15 日から 6 月 30 日

「パンプローナ市紹介写真展」が、市民ホールで開催される。

5 月 26 日から 6 月 2 日

ふれあい教室「こんにちはパンプローナ」が、中央公民館で 4 回にわたり開催される。

6 月 1 日

山口大学生グループとパンプローナ市民との無線交信が始まる。

6 月 11 日

姉妹都市をたたえた詩がパンプローナ市民から山口市に贈られる。

10 月上旬

姉妹都市をたたえた詩が、山口市の詩人、清木顕太郎氏からパンプローナ市へ贈られる。

10 月 18 日

姉妹都市提携記念創作「大内館南蛮異聞」が、市民文化祭で上演される。

10 月 1 日から 10 月 10 日

日中友好の船で勝間田八郎議員以下 6 名が訪中。

昭和 56 年(1981 年)

1 月中旬

姉妹都市 1 周年を記念して、幼稚園児、小・中学生との絵画 105 点と一般から募集した自己紹介とメッセージ 20 点をパンプローナ市へ贈る。

2 月 12 日から 2 月 15 日

姉妹都市 1 周年を記念し、「パンプローナ展」を市民会館展示ホールにおいて開催。調印関係の記念品、民芸品、図書などの展示を行うとともに、文通コーナーや物産即売を行う。

2 月 15 日

在日スペイン特命全権大使ホセ・アラゴネス氏を迎えて、姉妹都市 1 周年記念式典を行う。

2 月 16 日から 2 月 28 日

姉妹都市 1 周年を記念しての訪問団(団長堀泰夫市長以下 5 名)がパンプローナ市を訪問。

1 周年を記念する羊皮紙の手書きのメッセージが贈られる。

2 月 19 日、訪問団として始めてパンプローナ市の学校(エルミタガーニャ国立学校、アルカサル国立学校、サンイグナチオ学校)を訪問し、子供たちとの交流を行う。その際、山口市立小鯖小学校児童から杉山副議長に託された竹馬を各学校へ贈る。

また、山口市の主婦が作った紙人形(200 個)も併せて贈呈する。

4 月 1 日から 4 月 10 日

「パンプローナからこんにちは展」を市民ホールにおいて開催。パンプローナ市から贈られた児童画 42 点をとメッセージ 24 点を展示するとともに、友情の輪を広げるため「文通コーナー」を設ける。

7 月 16 日

パンプローナ市から来日中のホセマリア・シラルダ大司教が堀泰夫市長を表敬訪問。

10 月 17 日から 10 月 25 日

日中友好の船で、竹内勲議員以下 6 名が訪中。

昭和 57 年(1982 年)

2 月 19 日

姉妹都市 2 周年を記念して、堀市長とバルドゥーズパンブローナ市長が国際電話にてメッセージを交わす。

4 月 3 日

姉妹都市提携が行われた中で、市民こぞって交流を盛り上げていくため、中野正調印使節団長を会長とする「山口市姉妹都市市民の会」が設立される。

6 月中旬

パンブローナ市へ山口をあしらった「ハッピ」50 着と「龍」の設計図を贈る。

7 月 7 日から 7 月 16 日

「山口市姉妹都市市民の会」の設立を記念して、民間使節団(団長本廣正義助役以下 21 名)が、世界三大祭の一つとされる「サン・フェルミン祭」(牛追い祭)の期間にパンブローナ市を訪問。

10 月 5 日から 10 月 13 日

日中友好の船で、山口市友好訪中団(団長堀泰夫市長以下 13 名)が訪中。済南市長に友好交流を呼びかける。

10 月 13 日から 10 月 19 日

パンブローナ市から初めての民間使節団として、ナバラ大学生 7 名が来山。姉妹都市市民の会と市の主催による市民歓迎会を 10 月 14 日市民会館において開催する。使節団は、15 から 16 世紀頃の民族衣装でスペイン特有の楽器による民族音楽を披露する。また、引き続いて山口大学、山口女子大学の学生 25 名と姉妹都市学生交歓会を行う。

昭和 58 年(1983 年)

7 月 7 日から 7 月 16 日

山口市姉妹都市市民の会の呼びかけで、民間使節として 15 名がパンプローナ市を訪問。

8 月 16 日から 8 月 23 日

日中友好の船で本廣正義助役以下 5 名が訪中。済南市長へ堀泰夫市長の親書を手渡し、友好交流の促進と来山を要請する。

昭和 59 年(1984 年)

3 月から 6 月

山口青年会議所の青年交流事業をして、パンプローナ市青年との作品交換で、親と子で作った山口の伝統的な萩焼作品をパンプローナ市へ贈る。

4 月 17 日から 4 月 18 日

パンプローナ市からバルドゥーズ市長夫妻一行 4 名が来山。山口市民による歓迎レセプションが開催される。

7 月

済南市長何宗貴市長へ友好都市締結についての親書を送る。

10 月

済南市何宗貴市長から早期に友好都市締結できるよう努力する旨の書簡を受ける。

11 月

済南市経済視察団諸葛士廉団長ほか 4 名来山。11 月 5 日表敬訪問を受け、両氏の概要の説明及び協議をする。

11 月 1 日から 11 月 9 日

日中友好の船で、合志栄一議員以下 4 名が訪中。

昭和 60 年(1985 年)

3 月

済南市何宗貴市長から、中国人民対外友好協会の批准が得られたので、友好都市締結の事務折衝を始めた
いとの書簡を受理する。

4 月 19 日から 4 月 20 日

スペイン・ナバラ商業派遣団(団長ハイメ・アスコ ナバラ商工会議所会頭以下 6 名)が来山し、山口市役
所を表敬訪問。サンルート山口において、山口市及び山口商工会議所との懇談会を行う。

5 月 21 日から 5 月 28 日

済南市との友好都市締結の事務協議のため、山口市友好訪中団(先遣団・団長本廣正義助役以下 8 名)が済
南市を訪問する。

調印式を 9 月 20 日に山口市で行うことに決定。

9 月 19 日から 9 月 30 日

山口市と済南市との友好都市締結調印のため済南市友好訪問団(団長何宗貴市長以下 5 名)が来山。9 月 20
日市役所大会議室において、在日中国大使館段元培参事官、日中友好協会西園寺一晃副理事長、山口県知
事代理藤本裕夫参与立会いのもと、調印式を挙げる。

10 月 11 日から 10 月 20 日

パンプローナ市青少年から作品交換により贈られた作品(萩焼)及び手紙、アルバム、テープを市庁舎ロビ
ーに展示。

10 月 22 日から 10 月 31 日

友好都市締結調印のため何宗貴済南市長の来山に対しての答礼のため、山口市友好訪問団(団長堀泰夫市
長以下 10 名)が済南市を訪問する。

昭和 61 年(1986 年)

1 月 19 日

山口青年会議所の主催により、県児童センターにおいてパンブローナ市青少年との作品交流の伝達式が行われ、パンブローナ市青少年から贈られた作品と文通の資料が山口市の子供たち(77 名)へ渡される。

2 月 20 日

市役所待合ロビーに国際交流展示コーナーを設置し、パンブローナ市及び済南市から贈られた記念品と締結協定書を展示して、広く市民に公開。

3 月 20 日から 3 月 31 日

済南市から相互対等交流による第 1 回使節団として、商業視察団(団長管慶仁済南市財弁主任以下 4 名)が来山する。

5 月 20 日から 5 月 30 日

山口市から相互対等交流による第 1 回視察団として、山口市経済視察団(団長田村幸志郎商工会議所副会頭以下 5 名)訪中。

6 月 1 日から 6 月 5 日

山口市日韓友好親善訪問団(団長高田良雄議員以下 3 名)が韓国の青洲市、公州市、扶餘邑を訪問する。

6 月 17 日から 6 月 23 日

済南市との友好都市締結 1 周年を記念して、山口市日中友好協会訪中団(団長竹原哲史山口市日中友好協会副会長以下 18 名)が訪中。

7 月 4 日から 7 月 13 日

民間使節団として、パンブローナ親善訪問団(団長山根幹夫市企画部企画財政課長以下 8 名)がパンブローナ市を訪問。

8 月 29 日から 9 月 8 日

山口市教育視察団(団長村田拓男教育次長以下 5 名)が訪中。山口市内湯田小・中学校との姉妹校の済南市経五路小学校及び済南第一中学校を訪問。

9 月 17 日から 9 月 24 日

民間使節団として、山口市各界訪中団(団長八木宗十郎山口商工会議所会頭以下 24 名)が済南市との友好都市締結 1 周年を記念して訪中。済南市にて友好都市 1 周年記念レセプションが開かれる。

10 月 1 日から 11 月 30 日

済南市から自費自主交流として、自動車研修生 4 名来山。山口県高等自動車学校(防府市)において、指導者としての技術を研修。

10 月 1 日から 12 月 24 日

済南市から相互対等交流による通訳研修生 1 名 山口市庶務課にて、また、自主自費交流とし商業研修生 3 名、山口商工会議所にて、各々研修のため来山。

10 月 20 日から 10 月 30 日

済南市から農業視察団(団長孟雲済南市経済発展委員会副主任以下 5 名)が来山。山口市民とのふれあいの
中で、県農業祭の餅まきに参加。

10 月 30 日から 11 月 9 日

山口市行政視察団(団長岩本達夫総務部長以下 5 名)が訪中。

11 月 18 日

山口市国際親善市民の会の主催により、「済南市研修生を囲む会」が研修生と市内在住の中国留学生を招待し、ホテル・サンルート山口において行われる。

昭和 62 年(1987 年)

3 月

パンプローナ市へ大殿小学校から作品(生徒の絵画 12 点、先生の写真 73 点)を贈る。

3 月 16 日から 3 月 19 日

済南市から自主自費交流として旅遊視察団(団長郭首濤済南市旅遊局副局長以下 3 名)が観光宣伝のため来山。市観光協会、市日中友好協会との交流が中央公民館にて持たれる。

3 月 20 日から 3 月 31 日

済南市から経済視察団(団長王炳琴副市長以下 5 名)が来山。3 月 25 日に山口市国際親善市民の会による歓迎会がホテル・サンルート山口にて行われる。

5 月 22 日から 6 月 1 日

山口市農業使節団(団長森田常一山口市農協営農部長以下 5 名)が訪中。

6 月 28 日

山口市青年会議所主催によるパンプローナ市との交流事業として、子供達の国際電話による対話と交換絵画展が行われる。

9 月 3 日から 9 月 9 日

山口県と山東省の友好提携 5 周年を記念する「友好の翼訪中団」が組織され、山口市から職員 2 名参加。

9 月 15 日から 9 月 25 日

4 月の統一地方選挙で、新しく市長及び議会構成も決まり、また、済南市長も昨年 6 月に新任となっているため、行政と議会で構成する山口市行政視察団(団長小林兼年市長以下 10 名)が訪中。

友好都市締結 2 周年目の 9 月 20 日済南市を訪問し、友好を深めると共に、今後の交流について協議する。

9 月 29 日から 10 月 7 日

済南市から泉城文化節(山東芸術節)に招待があり、訪中団(団長堀泰夫前市長以下 8 名)が済南市を訪問。芸術文化の交流促進を図る。

10 月 8 日から 12 月 27 日

済南市から相互対等交流による通訳研修生として、孫秋亮氏来山。庶務課において研修するとともに、特に市職員への中国語入門講座が開かれる。

10 月 17 日から 10 月 23 日

民間による親善訪問団として、山口市観光協会(団長大隅清治会長以下 20 名)が訪中、小林洋一商工観光課長が同行する。

12 月 3 日

スペイン・ナバラ県と山口市のハム(嘉川、岡村礼次郎)同士の無線交信が行われる。山口市側から小林市

長のメッセージを伝える。

昭和 63 年(1988 年)

1 月 18 日から 1 月 30 日

済南市から職業教育視察団(団長劉統俠副市長以下 5 名)が来山する。

2 月 29 日から 3 月 2 日

パンプローナ市在住の山口市連絡員村松文子夫妻が来山。3 月 1 日市長を表敬、パンプローナ市から贈られた少年サッカー用トロフィーが届けられる。

3 月 1 日

山口市在住外国人留学生の座談会と懇親会が、山口市国際親善市民の会の主催により開かれる。

3 月 17 日から 3 月 28 日

済南市から食品視察団(団長高宗賢財貿弁公室副主任以下 5 名)が来山する。

6 月 1 日

市広報広聴モニターの施設見学会に山口市在住外国人留学生 10 人が参加し、併せて交流が行われる。

7 月 1 日から 7 月 11 日

山口市幼児保育視察団(団長正木繁老人障害福祉課長以下 5 名)が訪中。

8 月 24 日から 8 月 25 日

第 1 回パンプローナ杯争奪少年サッカー大会(主催：山口市サッカースポーツ少年団本部、山口市教育委員会)が樫野川運動公園で 24 チーム約 300 名の参加により行われ、大会に先立つ伝達式で、岡藤康男市助役からトロフィーが手渡される。

9 月 24 日から 10 月 5 日

済南市から医療衛生視察団(団長孫悦省副秘書長以下 5 名)が来山する。

10 月 1 日から 10 月 14 日

山口県が山東省へ派遣する医療技術研修団(5 名)に山口市から宮崎正子保健婦が参加する。

10 月 21 日から 10 月 30 日

山口市体育視察団(団長熊谷昭典教育長以下 7 名)が訪中。

10 月 24 日から 11 月 3 日

市民を対象に行われるヨーロッパツアー(21 名)に、小林市長をはじめ議会と執行部を併せて 7 名が加わりパンプローナ市を訪問。両首長の交代もあったため、新たな交流計画と友好の絆を深めた。

11 月 5 日から 11 月 6 日

「いきいき国際協カランド」(主催：山口県青年団体連絡協議会)が中村女子高校で開かれ、民間による国際親善団体として山口市国際親善市民の会が、パンプローナ市、済南市及び会の活動状況を紹介する。

12 月 3 日

聖フランシスコ・サビエルの祝日にあたるこの日、パンプローナ市のあるナバラ県のハムと山口大学アマチュア無線クラブ同士が交信を成功させ、姉妹都市相互の市長メッセージを交わす。

平成元年(1989 年)

1 月 9 日から 3 月 28 日

済南市から商業研修生(劉鳳蘭・趙玉環)が来日。日本の商業経営、管理業務について研修される。

2 月 27 日

山口市在住外国人留学生及び済南市商業研修生の施設見学と交流会が行われる。留学生 12 名参加。

4 月 11 日から 4 月 21 日

済南市から済南人民代表大会代表团(団長済南市人民代常務委员会主任李元栄以下 5 名)が来山。

4 月 25 日から 5 月 2 日

山口市日中友好協会済南市訪問団(団长安部一成)が、今後における日中相互の理解と友好親善を更に進めるための協議、検討を行うために一行 10 名が訪中、これに国際交流室が参加し、協議に加わる。

5 月 31 日

山口市制 60 周年記念特別演奏会、出演、読売日本交響楽団、プログラム：ドボルザーク 交響曲第 9 番 ホ短調「新世界」外の演奏会に、山口在住外国人留学生 10 人を招待。

6 月 1 日

市広報広聴モニターの施設見学に山口在住外国人留学生 16 人が参加し、併せて交流が行われる。

8 月 24 日から 8 月 25 日

第 2 回パンプローナ杯争奪少年サッカー大会(主催：山口市サッカースポーツ少年団本部:山口市教育委員会)が樫野川運動公園で市内小学校の 17 チームが参加、熱戦が繰り広げられた。

成績 優勝 Aリーグ 興進A、Bリーグ 大内A、Cリーグ 附属

8 月 25 日

山口市制 60 周年記念「国際理解学習の集い」を防長苑で開催。この行事は山口市制 60 周年記念行事として子供親善使節団を友好都市済南へ派遣し、21 世紀を築く両市の子供たちの相互親善と理解を深めるとともに、子供を通して日中友好と連帯の輪をより一層広げる目的で計画したが中止(6 月 4 日天安門事件以来の政情不安のため)となり、この代わりに教育委員会と国際交流室が主催したものである。

参加 子供親善使節団 17 名、同保護者 16 名、学校関係者 18 名、主催者 9 名

10 月 9 日から 10 月 11 日

ナバラ商工会議所会頭、ペドロ・ブヘノ、同国際本部長イグナシオ・ガラニエナ氏が来山、市長を表敬訪問。

10 月 19 日から 10 月 28 日

中国の民主化要求に端を発した天安門事件(6 月 4 日)以来政情不安となり中国訪問が中断したが、(親善使節団の派遣中止)、8 月 18 日北京を除き中国渡航自粛勧告の解除(外務省)、社会情勢、治安状況の回復等もあって交流の再開検討。済南市長から友好都市締結に直接携わった堀前市長、本廣前助役、前総務部長、石田庶務課長に招へい状が届き、訪中再開。山口市親善訪問団(団長堀泰夫)一行 5 名が訪中。

11 月 18 日

佐山公民館料理グループが山口市在住外国人留学生 24 人を招待。純和風料理を楽しみながら、交流、帰路、防府市大道長沢の長沢窯を見学。

平成 2 年(1990 年)

1 月 8 日から 3 月 31 日

済南市から相互対等交流による日本語通訳研修生として、徐建国氏来山。庶務課において研修するとともに、市職員の中国語入門講座を開く。

3 月 1 日

山口市在住外国人留学生に施設見学会と懇親会(山口市栄養改善グループの手作りの日本料理による招宴)を開催。留学生 13 名参加。

3 月 15 日から 3 月 22 日

山口市青年友好親善訪問団(団長小田憲山口青年会議所副理事長以下 10 名)が訪中。

3 月 22 日から 3 月 31 日

済南市企業管理視察団(団長鄒世平青年企業家協会副会長以下 5 名)が来山。

4 月 8 日

山口市在住外国人留学生を日本の祭りに招待。17 名が参加、地元住民と交歓する。場所 山口市西糸米木戸神社

5 月 5 日

山口青年会議所の主催行事“青空天国いこいの広場”の国際広場に参加。写真や姉妹・友好都市締結記念品の展示を行い山口市の国際交流を紹介。KDDの協力により公開国際記念通話を行う。

6 月 20 日

山東省婦人友好訪日団(団長劉培英山東省婦人連合会副主任)一行 4 名が山口市役所を表敬訪問。

6 月 28 日

山口市在住外国人留学生と山口市広報広聴モニターが市内の施設を見学し、交流を深める。留学生 10 名参加。

7 月 5 日から 7 月 12 日

済南市との友好都市締結 5 周年を記念し、山口市日中友好協会の招へいにより、済南市少年少女友好親善使節団(団長李瑞勇済南市青少年宮主任以下 9 名)が来山。市長を表敬訪問、山口市子供親善使節団と交流。

8 月 2 日から 8 月 9 日

山口市子供親善使節団(団長水上義昭宮野小学校長以下 25 名、児童 17 名、引率者 8 名)が訪中。

8 月 7 日

日韓親善中学校交流野球大会に出場する慶尚南道馬山中学野球部、役員、選手 34 名が山口市役所を表敬訪問。

8 月 23 日から 8 月 24 日

第 3 回、パンプローナ杯争奪少年サッカー大会(主催：山口サッカースポーツ少年団本部、山口市教育委員会)が榎野川運動公園において行われる。

9 月 11 日

ナバラ商工会議所ブエノ会頭以下 4 名山口市役所を表敬訪問。

9 月 17 日から 9 月 18 日

パンプローナ市からグループペレグリナシオン 34 名がサビエルのたどった道を訪ねて来山し、山口市を表敬訪問。パンプローナ市長からの親書を手渡す。

9 月 23 日から 10 月 2 日

済南市行政訪問団(団長王啓玉済南市外事弁公室主任以下 3 名)が来山。

10 月 9 日から 10 月 17 日

済南市との友好都市締結 5 周年を記念し、山口市日中友好協会の主催による山口市民友好訪中団(団長安部一成市日中友好協会会長以下 34 名)が訪中。済南市において植樹祭、山口フェアに参加。

10 月 10 日から 10 月 16 日

済南市との友好都市締結 5 周年を記念し、山口市有効訪中団(団長佐内正治山口市長以下 7 名)が訪中。済南市において開催された記念行事植樹祭(10 月 13 日)・山口フェア(会期 10 月 14 日から 10 月 24 日)の開会式(10 月 14 日)に参加。

済南市の中学生蘇楽さんから訪済中の佐内市長に、北京で開催されたアジア大会における日本の金メダル受賞者に、受賞者の名前を刻んだ蘇楽さん自作の印鑑が託される。

10 月 20 日

ライン・ブラス・クインテットと佐々木達夫演奏会に山口市在住外国人留学生を招待。10 名参加。於：山口市民会館

11 月 7 日から 11 月 17 日

山口市・済南市友好都市締結 5 周年に当たり、友好都市締結に尽力した山口市関係者の方々が招へいを受け、山口市友好親善訪中団(団長堀泰夫元山口市長以下 5 名)が訪中。

12 月 8 日

山口市在住外国人留学生 29 名を山口市仁保婦人会が招待。仁保で採れた材料で作った日本料理を楽しみながら交流。帰路 KDD 山口衛星通信所を見学する。

平成 3 年(1991 年)

1 月 19 日から 1 月 30 日

済南市経済視察団(団長李啓万済南市経済発展委員会主任以下 5 名)が来山する。

2 月 15 日から 2 月 16 日

駐日スペイン大使アントニオ・デオヤルサバル氏が着任後初めて山口市を表敬訪問され、サビエル記念聖堂を訪問された。

3 月 1 日

山口市在住外国人留学生の施設見学と懇親会(山口市栄養改善グループの手作りの日本料理による招宴)を開催。留学生 17 名参加。

4 月 16 日

中国料理を山口に紹介、指導するために山口市の友好都市済南市から来山した中国人調理師宋其※(※は、しんのように、元)氏(国家特一級烹師)が中国料理東天閣(代表者陳(川端)栄端)の招へいによる来山。市長を表敬訪問。

4 月 23 日

韓国慶尚南道梁山(やんざん)郡女性団体会(団長李快善梁山郡女性団体協議会長)一行 13 名が市長を表敬訪問。

4 月 25 日

友好都市済南市出身画家張登堂氏以下 3 名が中国絵画を通して日中友好親善を深めるため来山。市長を表敬訪問。

5 月 5 日

山口青年会議所の主催行事“青空天国いこいの広場”に参加。山口市の姉妹・友好都市を紹介するとともに、国際交流に関する市民の関心を高めようと国際交流クイズ大会を開催。(100 人参加)

6 月 18 日から 6 月 27 日

山東省・済南市第 3 回文化芸術祭の開催に当たり済南市から特別に招聘を受け、山口市文化芸術訪問団(団長高崎保夫山口文化協会理事以下 5 名)が訪中。日本舞踊の公演を行うとともに文化芸術の面での交流を深める。

7 月 10 日から 7 月 18 日

済南市都市建設視察団(団長彭元棟済南市城郷建設委員会主任以下 4 名)が来山。

8 月 1 日から 8 月 8 日

山口市中学生親善使節団(団長林登志雄湯田中学校長以下 17 名、生徒 12 名、引率者 5 名)が訪中。

8 月 17 日

日韓親善中学校交流野球大会(馬山市、8 月 19 日から 22 日)に参加のため出発に先立ち役員、選手 23 名が山口市長を表敬訪問、日韓親善中学校交流野球大会は、昨年山口市で開催された。

9 月 26 日

山口市在住外国人留学生 23 名を「松竹大歌舞伎」鑑賞会に招待。歌舞伎鑑賞に先立って鑑賞学習会も行う。

10 月 5 日から 10 月 15 日

市長を団長とし、議会と執行部、市民を合わせて 15 名がパンプローナ市を中心にヨーロッパを訪問。両首長の交替もあったため、就任のあいさつと今後の姉妹都市交流について協議を行う。

10 月 15 日

第 10 回山東省物産展覧会が県下数箇所で開催されるに当たり、その協力実演団として来日した山東省少年少女武術団(団長蘇峰済南市青年連合会副秘書長以下 14 名)が山口市を訪問。

また、同月 16 日に済南市の小学校、中学校との友好校である湯田小、中学校を訪問するとともに同月 18 日に武術団と両校との親善交歓会が行われた。

11 月 10 日

第 4 回パンプローナ杯争奪少年サッカー大会(主催／山口市サッカースポーツ少年団本部：山口市教育委員会)が維新公園、榎野川運動公園、白石小学校で市内小学校の 56 チームが参加。熱戦が繰り広げられた。

11 月 24 日

山口市在住外国人留学生 20 名を山口市二島婦人会が招待。二島でとれた材料で作った日本料理を楽しみながら交流。また、身近なふれあいを通そうとモチつきも行われた。帰路周防大橋を見学する。

11 月 29 日から 12 月 4 日

済南市経済貿易視察団(団長張福山済南市副市長以下 4 名)が来山。

平成 4 年(1992 年)

2 月 7 日

韓国慶尚南道大学野球部一行(徐秉權団長以下役員 6 名、選手 35 名)が山口市野球連盟の招請により 2 月 7 日から同月 16 日まで来山。山口市長、議長を表敬訪問。

2 月 14 日

中日友好協会理事・友好交流部長王雲濤女史が山口市を表敬訪問。

2 月 25 日

山口市在住外国人留学生を山口市小鯖地区民が招待。昼食を食べながら交流を持つとともに、日本の伝統の美、生け花に挑戦。帰路外郎の里で日本庭園を鑑賞する。

2 月 26 日

南方日報(中国・広東省、広州市)、何継寧(カケイネン)副総編集長・広東画報(中国・広東省、広州市)王志淵(オウシエン)副総編集長、同画報李志昭(リシショウ)主任記者が、ウイステリア・ランゲージ・センター(埼玉県川越市脇田町 15-15)の招聘で来日。同藤田啓理事長とともに来山。山口での協力者三好順之三好屋楽器店代表取締役の協力援助によって、山口市の取材と山口市長表敬訪問が実施された。

4 月 7 日

山口県・山東省友好県省締結 10 周年と日中国交正常化 20 周年の記念事業の一環として山口県を訪問した山東省友好訪日代表团(陸懋曾団長以下 7 名)が来山を機会に、市長を表敬訪問。

5 月 5 日

山口青年会議所の主催行事“青空天国いこいの広場”に参加。国際交流に対する市民の関心を高め、あわせて姉妹・友好都市の紹介をするため国際交流クイズ大会を開催。

5 月 13 日

済南市在住の山水画家、解維礎氏が中国絵画を通じて日中友好親善を深めるため来山、市長を表敬訪問。

5 月 21 日

学期休暇を利用して日本を訪問、山口市にホームステイしていたドイツ人、ケルスティン・ホッペンハウスさんが市長を表敬訪問。

5 月 27 日

「21 世紀のための友情計画」(日本国際生活体験協会等実施協力)により来日したマレーシア学生 20 名が来山、市長を表敬訪問。山口市滞在中は、スポーツやホームステイを通じて交流を深めた。

5 月 28 日から 6 月 3 日

済南市財貿視察団(団長艾魯川済南市人民代表大会常務委員会副主任以下 5 名)が来山。

7 月 2 日

I T D I J (国際観光開発研究センター)が開催した観光投資委員会にインド、ゴア州から参加した州政府観光局長 U. D. カマト氏がサビエルゆかりの山口市を訪れ、市長を表敬訪問。州都パナジ市との親善交流をよびかける。

7 月 6 日

日中国交正常化 20 周年・県山東省友好県省締結 10 周年を記念して、山口市に日中友好協会が招いた済南市青少年友好団一行が来山。

7 月 6 日

イエズス会総長コルベンバツハ神父が山口のサビエル教会を訪れ、あわせて山口市役所を表敬訪問。

7 月 29 日

在福岡アメリカ総領事館ドナルド・Y・ヤマモト首席領事が着任の挨拶ため来山、山口市役所を表敬訪問。

8 月 4 日

韓国慶尚南道馬山市議会議員親善訪問団(団長李成根議長以下 40 名)が来山。市長、議長を表敬訪問するとともに、議会制度の運営並びに環境整備施設を視察研修。

8 月 7 日

第 3 回日韓親善中学校交流野球大会(市野球連盟主催)参加のため来山した馬山東中学校野球部一行(役員 12 名、選手 19 名)が山口市長を表敬訪問。8 日、市民球場で市内中学校野球部と親善試合を行う。

8 月 18 日

中学校での国際理解教育推進のため、市内中学校教師 16 名と山口大学留学生 9 名の交流会を山口市教育委員会と山口市国際親善市民の会の共催で実施。

8 月 18 日から 8 月 24 日

山口県山東省友好都市締結 10 周年、日中国交正常化 20 周年を記念して「山口県友好の翼」が企画され、各市町村議員・行政山東省訪問団に山口市から梶本孟生議員と矢儀忠之庶務課長が参加。済南市訪問に当たり市人民政府を表敬訪問、佐内市長の親書を手渡す。

8 月 25 日から 8 月 28 日

山口市日韓友好親善訪問団(団長兼村晴定市議会総務委員長以下 5 名)が韓国、清州市・公州市・晋州市を訪問。姉妹都市交流に向けて各市の国際交流の実情と情報を収集。

9 月 6 日

山口市ゲートボール協会と友好関係締結をした韓国昌原市ゲートボール協会一行が来山、金洞守会長が副会長とともに市長を表敬訪問。

9 月 9 日から 9 月 12 日

済南市経済貿易視察団(団長翟永淳前済南市長以下 4 名)が来山。

9 月 24 日

在福岡アメリカ領事館首席領事ドナルド・Y・ヤマモト氏が再度来山、山口市長を表敬訪問。

10 月 2 日

大殿小学校の生徒が姉妹都市パンブローナ市のホセ・マリア・デ・ウアルテ学園の生徒に、学校の様子や山口市を紹介するため作成した親善アルバムを送る。

10 月 12 日から 10 月 20 日

山口市内の企業で働く青年により編成された山口市友好親善訪問団(団長石津育男山口信用金庫本店長代理以下 15 名)が済南市を訪問。

10 月 13 日

第十一回山東省物産展での公演のため来山した「山東省少年少女雑技団」一行 16 名が市長を表敬訪問。15, 16 日の両日、大殿小・中学校と交流する。

11 月 1 日

第 5 回パンブローナ杯争奪サッカー大会(山口市、サッカースポーツ少年団、山口市教育委員会主催)が維新公園等を会場に開催、市内各地区から 57 チームが参加。

11 月 5 日

山口バハイ共同体主催の講演会出席のため来山したりヒテンシュタイン公国のアルフレッド・ボオン・リテンシュタイン王子が市長を表敬訪問。

11 月 9 日

姉妹都市パンブローナ市から来日したフランシスコ・ハビエール・デ・エステバン氏が市役所を訪問。パンブローナ市長の親書とホセ・マリア・デ・ウアルテ学園から大殿小学校にあてた生徒の作品を受け取る。

11 月 10 日

中国残留婦人の会の招きで一時帰国した中国残留婦人 5 名が山口市婦人対策協議会の招待で来山し、市長を表敬訪問するとともに市内で交流会を行う。

11 月 19 日

韓国慶尚南道晋州市議会議員訪問団(団長張志爽議員以下 12 名)が市議会運営の視察のため来庁、市長・議長を表敬訪問。

11 月 21 日

韓国慶尚南道晋州市海外先進衛生処理施設視察団(行政担当者、関係住民等 26 名)が来山、市内の環境設備施設を視察。

11 月 30 日から 12 月 5 日

姉妹都市締結を進めるため山口市の実情を調査する目的で韓国公州市より姉妹都市提携訪問団として權周得庶務係長、魏基範企画係長が来山。

12 月 25 日

国際ライオンズクラブの青年交換派遣で来山しているオーストラリアの高校生ジェイン・エリザベスさんが市長を表敬訪問。

平成 5 年(1993 年)

1 月 8 日

山口市在住外国人留学生・研修生をウィーン・リング・アンサンブル・ニューイヤー・コンサートへ招待。
(参加者 23 名)

1 月 26 日

県受入の海外技術研修生としてペルーから来山している森岡エドアルド氏が市長を表敬訪問。

2 月 1 日から 2 月 4 日

山口市日韓友好親善訪問団(団長松永義雄副議長以下 5 名)が姉妹都市締結のための事前協議と親善訪問のため韓国公州市を訪問。姉妹都市締結調印式を 2 月 23 日火曜日に行うことを決定。

2 月 22 日から 2 月 24 日

山口市と公州市の姉妹都市締結調印のため、公州市韓日友好訪問団(団長金建培市長以下 13 名)が来山、2 月 22 日、市長・議長を表敬訪問。

2 月 23 日

市役所大会議室において、駐下関大韓民国総領事館朴文奎総領事、金求東領事、山口県知事代理松原將至出納長、山口県議会議長代理松永卓県議会議員の立会いのもと、調印式を行う。

3 月 4 日

山東省から外事弁公室職員と日本の都市と友好協定を結んでいる省内の市の担当者から編成された山東省友好都市交流視察団(団長張偉齡山東省外事弁公室副主任以下 7 名)が市長を表敬訪問。

3 月 18 日から 3 月 29 日

友好都市済南市から相互交流の一環として、済南市青年企業家視察団(団長叢大鳴済南市青年企業家協会名誉会長以下 7 名)が来山。

4 月 5 日

中国山東電視台訪問団(団長曾昭明台長以下 4 名)が友好協定を締結しているテレビ山口の招聘で来山、山口市長を表敬訪問。

4 月 27 日から 4 月 29 日

調印式の答礼のため、佐内市長を団長とする山口市日韓友好親善訪問団 13 名が公州市を訪問。公州市庁で表敬訪問と記念植樹を行う。

5 月 5 日

青空天国いこいの広場で、国際電話を通じて佐内市長が公州市の金壽鎮市長に挨拶。また鑄銭司の赤木さん姉妹がホームステイをした済南市の少女と近況を語り合う。

5 月 14 日

山口市国際親善市民の会が市民会館で公演されたロンドン B B S 交響楽団に市内在住の外国人留学生 22 名を招待。

6 月 15 日

市内一の坂川にかかるえびす橋がガーデnbrリッジに改修され、パンプローナ市をイメージした公園が設けられた。

6 月 17 日

中国黒龍江省から一時帰国した残留婦人の一行 6 名が中国残留婦人会交流の招きで、山口を訪問、市長を表敬訪問。19 日には市内で歓迎のつどいが開催される。

7 月 2 日

慶尚南道民願行政比較視察団(車信熙団長以下 17 名)が山口市の行政視察のため市役所を訪問。市民課、高齢障害課で主に窓口相談業務について視察。

7 月 2 日

国境なき医師団フランス本部クザビエ・エマヌエリ名誉顧問とドミニク・レギュイエ日本事務局長が同医師団の活動の紹介と市医師会との交流のため山口市を来訪。山口市長を表敬訪問。

7 月 3 日から 7 月 5 日

姉妹都市締結後初めての市民訪問団として国際親善市民の会が企画した山口市民友好の翼訪問団(田屋内昭男団長以下 8 名)が公州市を訪問。市民レベルの友好を深める。

7 月 22 日から 7 月 29 日

親と子が一緒に中国との交流を深める「山口市済南市子ども達の教育友好を深める会」(新宅儀次郎団長以下 11 名)が済南市を訪問。済南市の子ども達や父兄との交流を深める。

7 月 29 日

市内と済南市の企業により合併で設立された済南馳野自動車修理サービスの済南市側の関係者が業務開始先立ち、市役所を表敬訪問。

8 月 3 日から 8 月 4 日

韓国の姉妹都市、公州市から朴鍾寛市議会議長を団長とする各界の若手 16 名の韓日親善訪問団が、山口市を親善訪問し、交流と相互理解を深める。

8 月 6 日

山口ハイチまつり参加のため来山したハイチの伝統音楽グループ「ブッカン・ギネ」のメンバーが山口市を表敬訪問。

8 月 24 日

市内の医療施設視察のため来山した山東省済南中心医院訪日視察団(団長彭蘭文副院長以下 4 名)が山口市を表敬訪問。

9 月 27 日から 10 月 4 日

済南市との相互交流の一環として山口市中国行政視察団(団長小田文雄助役以下 8 名)が親善交流と 10 周年記念行事の協議のため友好都市済南市を訪問。

9 月 30 日

公州市との姉妹都市締結を記念して山口市日韓親善協会が市内の小中学校児童生徒に募集した山口市の風景や日常生活を題材にした絵画 75 点を公州市に送る。作品は 11 月 20 日から 1 週間、公州市内で展示された。

10 月 7 日から 10 月 10 日

公州市長より公州市で開催される第 39 回百済文化祭への招聘を受けて、佐内市長を団長とする親善訪問団一行 11 名が公州市を訪問。百済文化祭の諸行事に参席する。

あわせて山口日韓親善協会を中心に市民により編成された百済文化祭訪問団 60 名が同時期に公州市を訪れ、姉妹都市に対する理解を深める。

10 月 12 日

第 12 回山東省物産展への協力及び公演のために来山した山東省経済交流代表団(曹昌茂団長以下 13 名)と山東省雑技団(姚遂楹団長以下 15 名)の代表が山口市を表敬訪問。また山口市滞在中に山東省雑技団一行は白石小・中学校を訪問、同校の児童生徒との交流を深める。

10 月 15 日から 10 月 20 日

山口県の後援による「93 年度山口県日中友好の翼」に山口市より市議会議員と市職員の 2 名が参加、友好都市済南市を訪問。

10 月 24 日

第 6 回パンプローナ杯争奪少年サッカー大会を開催。市内各地区より 61 チームが参加。

11 月 1 日

山東省物産展下関会場の開会行事に参加するため来県された王月琴中国大使館参事が山口市を表敬訪問。

11 月 24 日から 11 月 27 日

友好都市済南市から済南市友好都市訪問団(団長譚永青副市長以下 11 名)が経済交流の呼び掛けのため山口市を訪問。商工会議所の協力で投資説明会を開催する。

11 月 29 日から 12 月 4 日

山口ライオンズクラブが中国経済友好視察団を編成して、済南市を訪問。ライオンズクラブの活動の紹介、将来での交流のため済南市にも同種の団体を設立されることを申し入れる。

平成 6 年(1994 年)

1 月 16 日

市内企業での技術研修のため、済南市より来山した研修生 2 名に研修中の便を図るため、市から自転車を貸与。

2 月 21 日から 2 月 25 日

山口市公州市姉妹都市締結一周年記念行事に参席のため、李鐘賢公州市長を団長とする公州市姉妹都市訪問団 16 名が来山。21 日、市長、議長を表敬訪問。22 日、公州市児童絵画作品展・写真展の開式行事及び一周年記念式典に参加。

3 月 28 日から 4 月 7 日

済南市との相互交流の一環として、済南市経済貿易交流団(団長趙文朝済南章丘副市長以下 8 名)が山口市を訪問。

4 月 12 日

県立美術館で開催された「17 世紀オランダ肖像画展」の開催行事に出席するため来山したオランダ総領事 W. J. ウィットカム氏が山口市を表敬訪問。

4 月 19 月から 4 月 21 日

大内文化探訪会が百済新羅文化探訪を目的に藤村順一郎会長を団長に会員 51 名で訪韓団を編成し、公州市を訪問。

5 月 10 日

山口県の教育視察のため来日した山東省教育友好視察団(劉新春団長以下 6 名)が山口市教育委員会を表敬訪問。また翌 11 日は市内白石中学校を参観。

5 月 11 日

下関市に開設された「青島事務所」に着任した李健総代表が山口市を訪問。着任の挨拶と事務所の業務を説明。

5 月 19 日

中国残留婦人交流の会の招きで一時帰国した残留婦人の一行 6 名が、山口の訪問を機会に、市を表敬訪問。22 日には市内で歓迎のつどいが開催。

6 月 21 日から 6 月 23 日

山口青年会議所が公州青年会議所と、これからの交流について協議するため、入交知則理事長を団長に一行 12 名が公州市を訪問。

6 月 22 日から 6 月 25 日

山口市文化教育交流団(団長小田文雄助役以下 7 名)が公州市を訪問。文化教育都市としての特性を活かした交流について協議する。

7 月 11 日

朴文奎駐下関大韓民国総領事が退任に当たり山口市長を訪問。

7 月 14 日

山東省経済友好交流団(団長王英森臨沂地区粮油貿易公司副総経理以下 6 名)が視察のため山口市を訪問したことを機会に、山口市長を表敬訪問。

7 月 27 日

山東省財政友好視察団(団長王学倫山東省国有資産管理局副局長以下 5 名)が財政管理の視察のため山口県を訪問し、山口市長を表敬訪問。

8 月 9 日

白善君駐下関韓国総領事が着任にあたって山口市長を表敬訪問。

8 月 19 日から 8 月 30 日

山口日韓親善協会主催で公州市の小中学生の書道作品を展示した「姉妹都市公州市児童生徒書道作品展」が市役所市民ホールで開催される。19 日の開式行事では、金漢俊駐下関教育院長や白石小学校生徒が参席。テープカットの後、ハングルの書道作品を鑑賞。

8 月 23 日

済南市天橋区経済貿易合作代表団(団長楊錫福天橋区副区長以下 9 名)が来日を機会に山口市を表敬訪問。

9 月 1 日

山口市内に住んでいる外国人の意見を市政に反映させるため、国際交流モニターの委嘱式を行う。委嘱されたモニターは、ロバート・J・シャルコフさん(米国)、王大用さん(中国)、李政樹さん(韓国)、彭光華さん(中国)、エイミー・ウイルソンさん(米国)、汪原燕さん(中国)、高倩芸さん(中国)、隋吉原さん(中国)の 8 名。

9 月 1 日

慶尚南道山清郡庁から行政比較視察団(団長朴信大以下 28 名)が視察のため山口市役所を訪問。

9 月 8 日から 9 月 10 日

大内文化の里づくり協議会の招きで来山した尹汝憲公州大学名誉教授一行 3 名が来山。9 日、教育会館で開催された「里づくりシンポジウム」で基調講演を行う。

9 月 22 日から 9 月 29 日

済南市との相互交流の一環として、山口市経済交流視察団(団長杉山勝良市議会議長以下 11 名)が済南市で開催される経済貿易フェア参加と 10 周年記念行事の協議のため友好都市済南市を訪問。

9 月 28 日

慶尚南道民願行政比較視察団(文森弘団長以下 16 名)が山口市の行政視察のため山口市を訪問。

10 月 12 日から 10 月 13 日

第 13 回山東省物産展での公演のため来山した山東省雑技団(王大民団長以下 15 名)が山口市滞在中に陶小学校と小鯖小学校を訪問、同校の児童生徒との交流を深める。

10 月 4 日

山口市で「ハワイ・ビジネス・セミナー」を開催するため来山したホノルル日本人商工会議所一行(団長大塚美枝子会頭以下 10 名)が山口市長を表敬訪問。午後、ニューメディア・センターで「セミナー」を実施。

10 月 13 日から 10 月 20 日

山口県の後援による「94 年度山口県日中友好の翼」に山口市より市議会議員と市職員の 2 名が参加、友好都市済南市を訪問。

10 月 23 日

パンブローナ杯争奪少年サッカー大会を開催。市内各地区より 66 チームが参加。

10 月 25 日

山口市国際親善市民の会が市民会館で公演されたチェコ・フィルハーモニー室内合奏団公演会に市内在住の外国人留学生 18 名を招待。

11 月 1 日

アジア刑政財団山口支部の公開公演会のために来山した韓国元法務大臣丁海昌氏が山口市長を表敬訪問。

11 月 2 日

公州青年会議所山口市訪問団(団長朴在旭会長以下 10 名)が山口青年会議所との交流のため来山したのを機会に山口市長を表敬訪問。

11 月 15 日

市内留学生の支援と市民との交流を深めることを目的とする市民団体、山口留学生交流会(会長:古川綾子)が発足。

11 月 20 日

市内留学生を対象に、「留学生文化ふれあい一日バスツアー」を実施。大内文化を中心に山口市の歴史文化を紹介。

パンプローナ市 姉妹都市締結 15 周年記念行事(1995 年)

1 月 26 日から 2 月 2 日

姉妹都市交流を記念して、パンプローナ市内に建設される日本庭園の事前調査のため、山口市から造園技師 2 名をパンプローナ市に派遣する。

2 月 17 日から 2 月 22 日

姉妹都市提携 15 周年に当たり、パンプローナ市のアルフレッド・ハイメ市長一行 12 名の訪問団が山口市を訪問。18 日記念式典でメッセージを交換。

5 月 5 日

山口青年会議所の主催行事“青空天国いこいの広場”に参加。山口市・パンプローナ市姉妹都市提携 15 周年を記念して、スペイン・ナバラ地方のスポーツ、石引き大会を開催。11 月 9 日に名田島ふるさとまつりでも開催し、多くの参加者がある。

10 月 23 日

パンプローナ市姉妹都市締結 15 周年、済南市友好都市締結 10 周年を記念して、講師に宮尾登美子氏、中野孝次氏を招き文藝春秋講演会を開催。

11 月 26 日

姉妹都市への理解を深めるため、音楽を通じて民間レベルでの国際交流に取り組む、MG I F 山口が、山口市国際親善市民の会と共催でピアノと歌による日本の子どもの歌や抒情歌と、姉妹都市パンプローナ市にちなみスペインの歌曲のコンサートを開催。

11 月 27 日

パンプローナ市との提携のきっかけとなったサビエルが山口を訪れた時、大内義隆に美装された本を贈り、西洋の文化を紹介した事にちなみ、両市の様子を紹介した書籍の交換を取り決めたことを受けて、山口市より 29 冊の本と 2 つのビデオを贈る。

済南市 友好都市締結 10 周年記念行事(1995 年)

5 月 13 日から 5 月 18 日

謝玉堂済南市長を団長とする一行 7 名が来山。17 日に市長・議長を表敬訪問し、10 周年記念式典、記念祝賀会に参席。

7 月 27 日から 8 月 1 日

市内の中、高校生を対象に 10 名、ジュニア画家・写真家を募集し、土肥一郎団長をはじめ、以下 15 名が友好都市済南市をたずねる。

9 月 23 日から 9 月 28 日

堀泰夫市長、大隅健一氏、両氏に「名誉市民」の称号が与えられ表彰式に参加する。

10 月 4 日

山口市日本中国友好協会の招待で来山した済南市少年少女友好使節団(団長陶化平済南市教育委員会副主任以下 10 名)が山口市長を表敬訪問。

10 月 8 日から 10 月 10 日

済南市より贈られた記念品「緞帳」が披露される。テープカットには市日中友好協会招へいの小・中学生「済南市少年少女友好使節団」も参加。

また同年 7 月 27 日から 8 月 1 日の間中国を訪問した中・高校生 10 名のジュニア画家・写真家の作品展を開催。

11 月 2 日から 11 月 8 日

テレビ山口とサンデントラベルの協力のもと、佐内正治市長を団長とした 13 名の山口友好訪問団と、113 名の市民が友好都市済南市を訪問する。山口市より、締結 10 周年の記念品「マイクロバス」の贈呈と記念植樹が行われ、市民とともに友好の絆を深める。

平成 7 年(1995 年)

2 月 8 日

山口市日中友好協会の招きで来山した山東大学友好訪問団(鹿玉理山東大学副校長以下 3 名)が市を表敬訪問。

2 月 24 日から 2 月 26 日

韓国の姉妹都市公州市から日本の姉妹都市訪問のため来日された兪徳濬市長一行 5 名が山口市を訪問。

3 月 24 日から 4 月 2 日

中国の友好都市済南市から山口市内の銀行、金融業の経営の方法、現状課題等の視察と金融関係者の交流をはかるため、銀行視察団の一行 11 名が山口市を訪問。

4 月 9 日から 4 月 16 日

大内文化探訪会(団長藤村順一郎会長以下 22 名)が、姉妹都市パンプローナ市内の歴史を勉強するために、パンプローナ市を友好親善訪問。

4 月 17 日

ヴェトナム・ハノイ・ザーラム地区浄水場整備計画カウンターが、国際協力事業団(JICA)が行う海外協力の一環として、短期研修員の受入れを行うことになり、ウェン・トゥロング・ダイ氏が、山口市長を表敬訪問。

7 月 30 日から 7 月 31 日

韓国仁川市から、朴賛武仁川副市長以下 6 名が来山される。

7 月 30 日から 8 月 1 日

山口青年会議所と、公州青年会議所が。交流活動の一環として「公州ちびっこ交流隊」を企画し、梅林義彦団長をはじめ 25 人の子供たちと、計 42 名が姉妹都市公州市を訪ね、交流の輪を広める。

8 月 2 日から 8 月 3 日

新しく公州市長に就任された全炳庸市長を団長に以下 8 名が、山口市役所を表敬訪問される。

8 月 28 日から 9 月 6 日

山口市、済南市との友好相互交流の一環として、牛洪恩団長以下 8 名の報道考察団が、山口市の新聞、テレビ界との交流を目的に来山

10 月 9 日から 10 月 12 日

姉妹都市公州市で開催される百済文化祭に、小田文雄助役以下 9 名が文化友好訪問団として参加。また同文化祭の時代行列に、入交知則団長以下 32 名が「琳聖太子の里帰り」として参加し、市民交流を深める。

10 月 11 日

第 14 回山東省物産展で協力公演のため来山した、「山東省歌舞団」李徳峰山東省人民対外友好協会秘書長以下 16 名が山口市長を表敬訪問。

10 月 15 日

姉妹都市パンプローナ市出身の留学生ネレア・ラケルさんが、パンプローナ市長より託された親書を持って山口市長を表敬訪問される。

10 月 24 日から 10 月 28 日

韓国の姉妹都市公州市から山口市の行政視察・研修を目的に、公州市庁職員 4 名が山口市を訪問。

平成 8 年(1996 年)

1 月 20 日から 3 月 23 日

在住外国人に対し、円滑な日常生活が行えるよう基礎的な日本語及び日本の生活様式等を教えることを目的とし、外国人のための「日本語講座」第 3 期講座を実施。

2 月 6 日から 2 月 7 日

公州文化院長李灌鎔氏と百済考古学者安承周氏が日本国内に散在している百済文化財の実態調査の途中、姉妹都市である山口市に立ち寄られ、佐内市長を表敬訪問される。

3 月 2 日から 3 かつ 3 日

山口市内の大学で学ぶ留学生 20 人と、市民との交流をはかるために、「留学生エンジョイスキーバス」を実施。市民に参加者を集い、計 40 人で友情を深める。

4 月 1 日

市内在住外国人向け無料情報サービス「お茶の間市役所」を開始。催しもののお知らせを英語、中国語、韓国語で電話とファックスで提供するもの。

6 月 1 日から 6 月 9 日

パンプローナ市内に建設中の日本庭園の石と樹木の選定のため、造園技師 1 名を派遣する。

6 月 29 日から 7 月 4 日

昭和 58 年から済南市の経五路小学校と手紙、作品などで友好交流をしている湯田小学校が、室謙司校長、児童 6 名、随員 2 名、計 8 名で経五路小学校を初めて訪問。合唱や踊りの歓迎をうける。6 名は勉強した中国語で自己紹介後、笛や中国語の歌を披露した。

6 月 1 日から 8 月 29 日

姉妹・友好都市相互研修生派遣事業により、韓国公州市交通指導係長全炳得さんが 3 か月間滞在。国際交流室に在籍し、日本語と山口市の行政について研修した。

7 月 26 日から 7 月 30 日

山口市バレーボール協会発足 40 周年を記念し、柴田文典氏を団長とする 19 名が済南市を訪問。済南市体育学校チームと交流試合を行った。

9 月 8 日から 9 月 19 日

パンプローナ市で建設中の日本庭園の石の配置と植樹指導のため、造園技師 2 名を派遣。他に 3 名の造園技師のボランティアの協力を得て、訪問中に地元技師と協力し、石の設置を終えた。

7 月 15 日から 10 月 10 日

研修生相互派遣事業で、山口市から語学研修生として商工観光課石村久英主事を派遣する。山東大学と済南第二人民医院内で研修。

7 月 22 日から 10 月 18 日

研修生相互派遣事業で、中国済南市から、済南市第二人民病院の眼科医、郭百霊副教授を受入。山口赤十字病院、山口大学医学部で緑内障等専門分野を中心に研修。

9 月 29 日から 10 月 8 日

済南市から司法訪問団を受入れ。山口地方裁判所、弁護士会館等訪問し、日本の司法制度を視察、併せて司法関係者と交流した。

10 月 1 日から 12 月 28 日

研修生相互派遣事業で国際交流室の宮崎知彦主事を公州市へ派遣。公州市庁企画担当国際協力係で語学、行政全般を研修。多数の公州市民と交流。

10 月 24 日から 10 月 27 日

公募により選ばれた 5 名を含む「～栗でむすぶ～ 公州市友好訪問団」古川綾子団長以下 7 名を派遣。公州市名産「栗」を使って自慢の料理を披露し交流を図る。

11 月 7 日から 11 月 14 日

「山口市消防訪問団」大隅博志団長以下 3 名を済南市へ派遣。消防界の交流を図る。

11 月 9 日から 11 月 16 日

「山東省訪問団」に山口市より市議会議員と市職員の 2 名派遣する。

相次ぐテレビ取材

8 月 30 日から 9 月 4 日

韓国 K B S 公州放送局が地方自治のドキュメンタリーを番組制作するため 6 日間山口市で取材を行う。

11 月 21 日から 11 月 23 日

中国、済南電視聴台と中国中央電視台とのクイズ番組の共同制作のため、人気キャスター姜豊さんが山口天神祭、大内塗などを取材。

平成 9 年(1997 年)

3 月 5 日から 3 月 8 日

公州市から「食文化交流訪問団」姜芝根団長以下 7 名を迎える。九折盤（クジョルパン）、神仙炉（シンソンロ）など、韓国式宮廷料理と山口側の寿司、刺身などの日本料理をいっしょに作りながら、飾られたお雛様を前に親しく交流した。

3 月 16 日

「外国人のための日本語講座」卒業バス旅行を実施。受講生、先生、市民 73 名が参加。徳山市の大田原自然の家でそばづくり、草スキー、ゲームなどで楽しい 1 日を過ごした。

4 月 10 日から 4 月 15 日

「済南市経済貿易訪問団」孫淑義団長以下 6 名が来山。経済交流促進のため経済促進協議書の調印を行う。

5 月 1 日から 7 月 29 日

公州市から、国際協力係長陳起蓮さんが研修生として来山。日本語を学びながら、市民のための異文化体験講座講師などを勤めた。

5 月 16 日から 5 月 25 日

「済南市ホテル管理視察団」孫嘉祥団長以下 6 名が来山。市内のホテルの調理部門、サービス部門を中心に視察。また、市民手作りの日本料理も堪能した。

山口市&公州市役所親善交流サッカー大会

5 月 11 日及び 10 月 18 日

5 月 11 日：維新百年記念公園サッカー場、10 月 18 日：公州市サッカー場

平成 8 年第 1 回研修生の全炳得(チョン・ビョンドク)さんの発案で職員間によるクラブ部交流が実現。5 月、公州市「孝行息子」サッカークラブ(団長金鍾柏以下 27 名)を迎えての試合は白熱し、引き分けとなった。

10 月には、山口市役所サッカー部 25 名が公州市を訪問し、試合のほか職場訪問などして交流した。

6 月 27 日から 7 月 4 日

「山口公園」完成記念パンプローナ市訪問団

姉妹都市提携 15 周年を記念して建設中だった日本庭園が完成し、40 人の訪問団が開園式に出席。開園式前、400 個の紅ちょうちんを飾った園内で団員が抹茶と外郎で山口市を P R、「大内のお殿様」をパンプローナ市民と一緒に踊る。

庭園の広さは 6,000 m²、滝、あづまや、洲浜を配した、りっぱな日本庭園です。

帰国後、8 月 30 日、31 日、団員による C・S 赤れんがで「スペインからこんにちは～パンプローナ市訪問団～写真展」が開催された。

8 月 2 日から 8 月 4 日

山口青年会議所主催による第三回「山口・公州ジュニア交流隊」(中学 2 年生 22 名ほか 14 名)が公州市を訪問。共同調理、陶磁器製作、スポーツなどで交流した。

8 月 3 日から 8 月 4 日

全炳庸公州市長以下 4 名が熊本県菊水町を訪問後、山口市を訪問。リサイクルプラザを見学。

9 月 1 日から 11 月 21 日

研修生相互派遣事業で名田島公民館末永将主事を公州市へ派遣。公州市庁企画担当官室国際協力係で語学のほかに百済文化祭等を研修した。

10 月 9 日から 10 月 11 日

山口市伝統まつり交流訪問団原昌克団長以下 7 名が、公州市で開催された第 43 回百済文化祭を視察。祭担当者と懇談した。

12 月 1 日から 2 月 28 日

語学研修生として済南市へ課税課吉松高敏主事を派遣。山東大学で中国語を学ぶ。

平成 10 年(1998 年)

2 月 17 日から 2 月 26 日

「済南市教育交流団」団長劉若平以下 6 名が来山。湯田小・中学校、仁保小・中学校ほかを視察。学校給食も体験した。

3 月 1 日から 3 月 7 日

日本語教師訪問団(林伸一団長以下 6 名)が済南市を訪問。山東師範大学、山東外国語学校などを訪問。訪問先で日本語授業について交流した。

3 月 14 日

「英語ガイド・チャレンジ講座」を実施。34 名が参加。午前中の講義のあと、バスに乗車、瑠璃光寺、新サビエル記念聖堂を廻り、英語ガイドのノウハウを学習した。

3 月 21 日

「日本語を学んでいる外国人と行くバスツアー」を実施。外国人、先生、市民応募者が、秋吉台家族旅行村でクイズラリーや焼きそば作りなどで交流した。

4 月 25 日

平成 10 年 3 月、済南市をはじめ中国の日本語教育事情視察や日本語教師との交流を目的に中国に派遣した「山口市日本語教師訪問団」の団員が山口大学で帰国報告会を開催した。

4 月 28 日から 5 月 1 日

4 月 29 日に行われたサビエル記念聖堂献堂式出席のため、パンプローナ市パスカル・ロサノ第一助役夫妻ほか 7 名が来山。パンプローナ市のホセ・マリア小学校と絵画等作品交換をしている大殿小学校を訪問し、両校の作品を交換したり、授業を見学して児童との交流を行う。

また、サンティアゴ・サラス・スペイン大使とエドアルド・コル・デ・カルヴァーリョポルトガル大使館文化参事官も来山し、献堂式に出席。

山口教会のための協議会からは、前ナバラ商工会議所会頭のペドロ・ブエノ氏、ハビエル村長のアンヘル・シプレス・エスパルサ氏、ハビエル村助役ヘスース・マリ・ペレス氏、サン・ハビエル・ムルシア村長のホセ・ルイス・マンサナーレス氏が、市長を表敬訪問。

5 月 13 日

平成 10 年 4 月に駐広島大韓民国総領事館に就任された曹圭泰(チョ・キュテ)総領事が山口市を表敬訪問。

5 月 30 日

「新入留学生歓迎山口紹介バスツアー」を実施。34 名の新入留学生がサビエル記念聖堂などの市内観光地やリサイクルプラザなど山口市の主要施設を見学。また、日本文化紹介として生け花も体験した。

6 月 9 日

財団法人 A F S 事業でスウェーデンから山口高校に留学中のマーティン・サンドストム君が市長を表敬訪問。

6 月 19 日

外国人にも住みやすいまちづくりを推進するため、行政サービスなどについての提言をもらう「山口市国際交流モニター」に市内在住外国人 9 名を委嘱する。

7 月 23 日から 7 月 25 日

山口市と韓国公州市の姉妹都市交流 5 周年を記念して、公州市民 30 名を「市民総踊り」に招き、踊りに参加してもらい、市民交流を図る。

7 月 29 日

在大阪・神戸オランダ総領事館のヘンリ・エバラーズ総領事が山口市を表敬訪問。

8 月 1 日から 8 月 6 日

市内の中・高校生を対象とした「ジュニア画家・写真家済南市訪問団」団員 8 名を公募し、田中淳夫団長以下全 11 名が済南市などを訪問。風景や人物など中国の今を絵画や写真に収める。また、済南市外国語学校や青少年宮を訪れ、生徒との交流を図った。平成 7 年に続いて 2 回目の実施となる。

8 月 6 日から 8 月 8 日

韓国慶尚南道の慶南大学野球部 32 名が徳山大学との親善試合に来山。6 日には表敬訪問に来庁。

8 月 10 日から 8 月 22 日

大殿小学校と絵画など作品交換をしているパンプローナ市ホセ・マリア小学校児童の作品約 70 点を市役所市民ホールで展示する。展示作品は、本年 4 月に来山したパンプローナ市訪問団が持参し、大殿小学校に届けたもの。

8 月 24 日から 9 月 4 日

8 月 1 日から 6 日まで中国を訪問した「ジュニア画家・写真家済南市訪問団」団員 8 名の絵画及び写真作品約 50 点を市役所市民ホールで展示する。あわせて訪問記や作品をインターネットのホームページで紹介する。

8 月 25 日から 8 月 27 日

韓国公州市姉妹都市交流 5 周年記念「黒田福美講演会&写真展」を開催。市民に韓国や公州市についてより関心を持ってもらうため、俳優で韓国通として知られる黒田福美さんを招き、25 日に「自己流国際交流～韓国から被災地神戸へ～」と題した講演会を開催した。また 25 日から 17 日まで「韓国／ソウル 私の 10 年物語」と題し、黒田さんの写真展もあわせて開催した。

8 月 28 日

大殿・白石・湯田地区の小学生を対象とした「夏休みジュニア国際交流塾」を実施。中国・韓国の留学生各 3 名を講師に招き、参加した 20 名の児童がフリートークや両国の料理を作ったり、韓国のスポーツ「チョック」を行い、異文化体験をする。

8 月 31 日

在福岡アメリカ領事館のケビン・K・メア首席領事が山口市を表敬訪問。

9 月 10 日

山東省などの中国残留婦人 3 名とその家族 3 名が、山口市を表敬訪問。

10 月 20 日

中国山東省物産展覧会の「山東省雑技団」9 名が山口市を表敬訪問。

11 月 1 日

山口留学生交流会と共催で、「留学生りんご狩りバスツアー」を実施。阿東町のリンゴ園で交流する。留学生とその家族 86 名が参加。

11 月 25 日

商店街等活性化先進事業の一環として行われた「スパニッシュ・ロード」事業において、パンプローナ市からケーキ職人のテオフィロ・エスクリバーノ・モンターニョ氏が来山。サンフェルミンケーキやチャンチゴリ(豚の脂を使ったパン)などを製造。また、11 月 30 日にはパン職人のフェリペ・ルンブレラス・カブレリソ氏が来山。チャパタ、カベソンといった主食用パンを製造。期間中多くの市民がパンプローナの味を楽しんだ。

平成 11 年(1999 年)

1 月 18 日から 1 月 21 日

済南市から経済貿易関係の促進を目的に孫常印団長ほか 7 名の「済南市経易交流団」が来山。山口市工業団地や日本貿易振興会等を視察。

2 月 22 日から 3 月 3 日

済南市から日本の教育事情の視察を目的に陳栄団長ほか 6 名の「済南市教育考察団」が来山。市内の幼稚園、小・中学校を訪問して、児童達との交流も深める。

3 月 14 日

日本語を学んでいる外国人と行く“ふれあいバスツアー”を実施。徳地町の「重源の郷」へ日本語講座受講生の外国人と日本語教師、市民応募者が訪れ、紙漉き体験などをして交流する。

3 月 31 日

昭和 59 年に設立された山口市国際親善市民の会が、平成 10 年度をもって閉会する。

4 月 14 日

駐日ブルネイ大使が山口市を表敬訪問される。

5 月 15 日

市内新留学生に瑠璃光寺やサビエル記念聖堂など市内主要観光地や市の施設を紹介する「新入留学生歓迎山口紹介バスツアー」を実施。山口大学・山口県立大学の留学生とその家族 20 名が参加。日本文化紹介として「生け花」を体験する。

5 月 24 日

オブ・ユールヨーゲンセン駐日欧州委員会代表部大使(EU大使)が山口市を表敬訪問される。大使は山口大学・山口県立大学・山口経済同友会主催による講演会の講師として来山された。

6 月 26 日

インターナショナルわいわいトーク 異文化体験講座「なるほど済南市！！山口県国際交流員を招いて」と題して、中国山東省済南市出身の寶巨瀾氏を講師に招き、済南市のことや中国事情を話してもらう。

7 月 16 日

ロドニー・カミンズ大阪英国総領事が山口市を表敬訪問される。

7 月 21 日

山口大学と学術協定を結んだ韓国公州市の呉済直(オ チェチック) 公州大学総長ほか 4 名が山口市を表敬訪問される。

7 月 21 日から 7 月 27 日

公募で選ばれた女子高校生 5 名を含む全 8 名からなる「済南市ジュニア朋友団」が済南市を訪問する。団員の高校生は済南市外国語学校日本語学科生徒宅に 2 泊 3 日のホームステイを行う。済南市での青少年のホームステイは今回が初めて。

7 月 30 日から 8 月 6 日

公募で選ばれた中学生・高校生各 8 名を含む全 20 名からなる「海外都市ジュニアホームステイ訪問団」がオーストラリア・シドニーを訪問し、語学研修とホームステイを行う。今回始めて英語圏都市を青少年が訪問することとなる。(第 1 回)

8 月 4 日から 8 月 6 日

全炳庸(チョン ビョンヨン) 公州市長ほか全 16 名が来山。5 日には公州市長を講師に「公州市のまちづくり～孝行運動の推進について～」という演題で講演会を開催し、職員がまちづくりの参考とするため聴講した。

8 月 27 日

’99 アジア演劇人フェスティバル in 日本 の講演会のため来山した劇団代表者が表敬訪問される。

10 月 9 日から 10 月 11 日

山口青年会議所主催で「市制 70 周年記念百済文化祭市民訪問団」33 名が公州市の百済文化祭を訪問する。9 日、前夜祭には山口紹介コーナーを祭の会場に設置して山口観光パンフレットやちょうちん、オリジナルうちわなどを見物客に配布する。10 日には歴史時代行列に「大内義隆」の巨人人形とともに参加し公州市民との交流を深める。

10 月 30 日

インターナショナルわいわいトーク異文化体験講座「オラ ケタール！ スペイン カタルーニャからこんにちは！！」と題して、スペイン カタルーニャ出身で山口県国際交流員のエンマ・アルジェント・フィブラさんを講師に招き、スペイン事情を話してもらう。

11 月 3 日

民間交流団体「山口留学生交流会」と共催で「留学生と行くりんご狩りバスツアー」を実施。阿東町のりんご園で交流する。留学生とその家族 86 名が参加。

平成 12 年(2000 年)

2 月 14 日から 2 月 23 日

済南市から公共料金形態の調査研究を目的に、呉捷団長ほか 8 名の「済南市物価視察団」が来山。

2 月 28 日から 3 月 2 日

公州市から老人福祉担当職員と K B S 記者の 3 名が来山。市内老人福祉施設を視察。

3 月 12 日

日本語を学んでいる外国人と行く“ふれあいバスツアー”を実施。徳山市大田原自然の家で「そばづくり」体験などで交流。67 名参加。

3 月 22 日

「やまぐち文化発信ショップ」運営委員会が、パンプローナ市のククスムス社デザイナーのミケル・ウルメネタ氏を招聘し、山口市を中心とした風物をモチーフとしたオリジナルデザインの制作のワークショップを開催する。20 日来山、22 日市長表敬、25 日まで山口市滞在。

4 月 12 日

スペイン出身で山口県国際交流員のエンマ・マルジェント・フィブラさんを講師に招き、なるほど！おもしろ！「スペイン講座」を開催。3 回に渡り、スペイン事情やスペイン語について話をしてもらう。

4 月 14 日

済南市総工会が山口市を表敬訪問される。

パンプローナ市 姉妹都市締結 20 周年記念

5 月 10 日から 5 月 16 日

姉妹都市締結 20 周年を記念し、市長を団長とした友好訪問団 7 名と山口ナバラの会が募集した市民訪問団 16 名がパンプローナ市を訪問。山口公園で行われた記念式典に参加し、桜の苗木の記念植樹を行う。

済南市 友好都市締結 15 周年記念

5 月 21 日から 5 月 24 日

友好都市締結 15 周年を記念して謝玉堂済南市長を団長とする一行 13 名が来山。市長・議長を表敬訪問し、「仁保の郷」にて記念植樹を行う。歓迎会においては、訪問団員による京劇が披露された。

7 月 10 日から 7 月 21 日

市民ホールにおいて、姉妹都市締結 20 周年記念「パンプローナ市友好訪問団」の写真展が開催される。

7 月 28 日から 8 月 4 日

「海外都市ジュニアホームステイ訪問団」(第 2 回)が市内の中・高生 16 名の参加で実施。西オーストラリア州パースに滞在し、語学研修とホームステイを行う。

8 月 8 日から 8 月 11 日

山口青年会議所の主催で、第六回「山口・公州ジュニア交流隊」が行われ、市内の中学 2 年生 25 名が参加。公州市を訪問し、スポーツ、キムチづくり、ホームステイなどで交流した。

8 月 2 日から 8 月 11 日

日中友好協会の招待で、済南市少年少女友好訪日団(呉継紅団長以下 18 名)が来山。市長表敬訪問。ちょうちんまつりへの参加、ホームステイなどを行い、交流を深める。

9 月 7 日

8 月に就任された、在広島大韓民国総領事館の朴承武総領事が市長を表敬訪問する。

9 月 20 日から 9 月 26 日

原昌克助役を団長とする山口市友好訪問団が済南市を訪問、友好都市締結 15 周年記念行事や友好都市合同会議に出席する。また、同時期に市民訪問団 30 名も済南市を訪問し記念行事等に出席。

10 月 29 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を実施。50 名が参加し、阿東町のりんご園で交流する。

12 月 3 日

維新公園ラグビー・サッカー場において、「第 3 回公州市・山口市親善交流サッカー大会」が行われる。両市役所のサッカー部を中心に市民を交えたチーム編成で、お互いの交流がさらに深まった。

平成 13 年(2001 年)

1 月 11 日

公州青年会議所の盧鐘河会長以下 4 名が山口青年会議所との交流のため来山、市長を表敬訪問する。

1 月 13 日から 3 月 24 日

在住外国人に基礎的な日本語及び日本の生活習慣を学習してもらうため、「外国人のための日本語講座」を実施。

1 月 19 日

在大阪インド総領事ヨゲシュワル・ヴァルマ氏が山口市長を表敬訪問する。

3 月 18 日

日本語を学んでいる外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。島根県津和野町を訪問し、紙漉き体験、ウォークラリーなどを通して在住外国人、市民がお互いに交流を深める。

5 月 29 日から 6 月 1 日

公州市から「食文化交流訪問団」(宋榮月団長以下 10 名)が来山。韓国伝統料理を紹介し、市民との交流を図る。

6 月 28 日から 7 月 1 日

公募により選ばれた市民 7 名を含む「食文化交流訪問団」が韓国公州市を訪問。日本料理と韓国料理を互いに紹介しながら、公州市民との交流を深める。

7 月 25 日から 7 月 31 日

「済南市ジュニア朋友団」を中国済南市に派遣。市内の中・高校生 7 名が済南市を訪問し、青少年宮などの見学やホームステイを行う。

7 月 27 日から 8 月 4 日

市内の中・高校生 16 名の参加で、「海外都市ジュニアホームステイ」(第 3 回)が行われる。シドニーでのホームステイとニューカッスルでの学校訪問を行い、現地の人々と交流を深める。

8 月 2 日

山口大学と学術交流を行っている韓国公州大学から 9 名が来山し、市長表敬訪問を行う。

パンブローナ市姉妹都市締結 20 周年記念

9 月 20 日から 9 月 23 日

姉妹都市締結 20 周年(2000 年 2 月)を記念してパンブローナ市からヨランダ・バルシナ市長をはじめとする訪問団 9 名が来山。きらら博や市内の視察を行い、記念式典において友好の絆を深める。

10 月 11 日から 10 月 14 日

公州市からの招待を受けて、第 47 回百済文化祭に原助役以下 5 名が訪問。

平成 14 年(2002 年)

1 月 19 日から 3 月 23 日

在住外国人に基礎的な日本語及び日本の生活習慣を学習してもらうため、「外国人のための日本語講座」を実施。

1 月 28 日から 2 月 6 日

済南市から日本の会計検査院にあたる「審計局訪問団」が来山。監査委員事務局や山口財務事務所を訪問し監査制度等について視察される。

3 月 24 日

在住外国人と市民が参加する「ふれあいバスツアー」に約 70 名が参加。萩焼き絵付け、市内散策を行い互いの交流を深める。

7 月 4 日

山口大学との交流で来山した公州大学の学生ら 9 名が、市長を表敬訪問する。

7 月 10 日から 7 月 12 日

自治大学校の地方自治研修に参加している海外からの研修生 10 名が来山。山口市の行政について学ぶ。

7 月 21 日から 7 月 28 日

「海外都市ジュニアホームステイ訪問団」(第 4 回)が市内の中・高校生 16 名の参加で実施。シドニーでの語学研修やニューカッスルのキャラハン・カレッジを訪問してのホームステイを行う。

7 月 24 日から 7 月 30 日

市内の中・高校生 7 名が参加して「済南市ジュニア朋友団」が行われる。学校訪問やホームステイを通じて、済南市や中国に対する理解を深める。

7 月 27 日から 8 月 3 日

県からの委託を受けた山口ナバラの会がスペイン・ナバラ州へ訪問団を派遣。パンプローナ市で開催されたナバラ祭りで民謡を披露し、市民との交流を深める。

8 月 3 日から 8 月 6 日

山口青年会議所の主催で第 8 回山口・公州ジュニア交流隊が行われる。市内中学生 24 名が公州市を訪問し、スポーツやホームステイなどして同年代の生徒と交流を深める。

8 月 27 日から 8 月 30 日

大和吉孝団長をはじめとする公募による市民 7 名を含む「陶芸体験訪問団」が韓国公州市を訪問。鷄龍山陶磁芸術村で作陶やホームステイを体験する。

9 月 5 日

8 月に就任された在広島大韓民国総領事館の李河鎮総領事が市長を表敬訪問する。

9 月 23 日から 9 月 26 日

8 月に訪問した公州市の陶磁芸術村から、朴祐鎮団長をはじめとする陶芸家 10 名が来山し、山口萩焼などを視察、前月公州市を訪問した団員宅にホームステイをする。

10 月 16 日

山口市日中友好協会の安部一成会長のこれまでの功績に対して、済南市から「荣誉市民」の称号が贈られる。安部会長は授与式に出席。

10 月 12 日から 10 月 15 日

公州市で行われた「第 4 回山口市・公州市親善交流サッカー大会」に市役所サッカー部、一般のサッカー愛好者ら 22 名が参加。公州市のサッカー関係者との友好を深める。

10 月 27 日

山口留学生交流会と共催で「りんご狩りバスツアー」を実施。留学生、会員等 40 名が参加し交流を深める。

12 月 7 日から 12 月 10 日

オーストラリア・ニューカッスル市のキャラハン・カレッジから 20 名が来山。日本訪問にあわせて交流のある山口市に滞在するもので、ホームステイで交流を深めた。

平成 15 年(2003 年)

1 月 9 日から 1 月 15 日

済南市から「文化教育友好訪問団」(孫常印団長以下 9 名)が来山。山口大学への訪問や日本の宅地事情について視察をする。

1 月 25 日から 3 月 29 日

在住外国人に基礎的な日本語及び日本の生活習慣を学習してもらうため、「外国人のための日本語講座」を実施。

3 月 30 日

日本語を学んでいる外国人と行く“ふれあいバスツアー”を実施。徳地町の「徳地少年自然の家」で和紙人形作りをフリスビーによるゲームで交流を深める。70 名が参加。

4 月 7 日から 4 月 8 日

公州市環境保護課から 3 名の視察団が来山し、山口ふるさと伝承総合センターでの蛍の飼育の様子や山口市リサイクルプラザ、中部クリーンセンターなどを視察し、山口の環境対策について説明を受けた。

4 月 25 日

駐福岡アメリカ領事館ウー・C・リー首席領事が着任にあたって山口市長を表敬訪問。

7 月 18 日

エーロ・サロヴァーラ駐日フィンランド大使、バーント・アレヘルシンキ美術館長他 3 名が、山口県立美術館で開催されるフィンランド視覚芸術「神話が息づく自然の国」の開会式出席のため来山し山口市長を表敬訪問した。

公州市姉妹都市締結 10 周年記念行事

8 月 1 日から 8 月 8 日

公州市との姉妹都市締結 10 周年を記念して、市役所 1 階市民ホールで、「山口市・公州市姉妹都市締結 10 周年記念パネル展」を開催した。

8 月 5 日から 8 月 8 日

公州市との姉妹都市締結 10 周年を記念して、公州市から呉英姫市長をはじめとする公式訪問団 12 名と文化使節団 18 名が来山。山口七夕ちょうちんまつりで韓国伝統民俗総合劇「燈火祝祭」の公演をし、公州市の伝統文化を披露した。

10 月 9 日から 10 月 11 日

公州市との姉妹都市締結 10 周年を記念して、合志栄一山口市長、武田寿生山口市議会議長をはじめとする公式訪問団と、入交知則百済文化祭参加実行委員会委員長をはじめとする「百済文化祭市民参加訪問団」の計 149 名が公州市を訪問し、韓国三大文化祭のひとつ「第 49 回百済文化祭」に参加し、大内のお殿様踊りやよさこい踊りを披露し、公州市民に姉妹都市山口市をアピールした。

10 月 26 日

山口留学生交流会と共催で「りんご狩りバスツアー」を実施。留学生とその家族 73 名が参加し、阿東町のりんご園で交流する。

平成 16 年(2004 年)

1 月 24 日から 3 月 27 日

在住外国人に基礎的な日本語及び日本の生活習慣を学習してもらうため、外国人のための日本語講座を実施。

3 月 14 日

日本語を学んでいる外国人と行く“ふれあいバスツアー”を実施。徳地町の重源の郷で紙すき体験をし、はがきとしおりを作る。フリスビーによる的当てゲームで一般参加者との交流を深める。84 名が参加。

3 月 26 日

駐広島大韓民国総領事館金演権総領事が着任に当たり、山口市長を表敬訪問。

6 月 19 日から 6 月 21 日

山口市スポーツの森多目的広場において「第 5 回山口市・公州市親善交流サッカー大会」が行われる。公州市役所をはじめ公州市蹴球連合会から計 31 名が来山。山口市役所サッカー部、山口市民チームとの交流試合を行い、スポーツを通じて姉妹都市市民同士の親交を深める。

7 月 21 日

山東省済南市から「山東大学学生海外研修訪日団」(張維娜団長以下 6 名)が山口市長を表敬訪問するとともに、市内視察やホームステイを行う。

7 月 25 日から 8 月 1 日

昨年は S A R S のため中止となった「海外都市ジュニアホームステイ訪問団」(第 5 回)が市内の中・高校生 16 名の参加で実施。シドニーでの語学研修やニューカッスルのワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、日本文化の紹介やホームステイを行う。

8 月 23 日から 8 月 26 日

済南市から「済南市教育友好訪問団」(蔡迎軍団長以下 8 名)が市長・教育長を表敬訪問する。また市内の教育施設(宮野中学校、湯田保育所)や山口情報芸術センターなどを視察する。

9 月 1 日

山口大学留学生学友会(Y U i S A)が結成され、山口市長を表敬訪問する。

9 月 15 日

二島公民館で「国際交流講座」が開催され、「山口市の姉妹・友好都市」の演目で講演を行い、山口市の国際交流の紹介を行う。

10 月 24 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を実施。留学生、会員等 51 名が参加し交流を深める。

10 月 25 日から 10 月 28 日

公州市から「公州市親善交流訪問団～『山口市』を見て触れて感じる訪問団～」(呉鼎榮団長以下 10 名)が来山。大内塗り箸作り体験、藁・粘土細工の披露を通じて、11 月に公州市を訪問する団員とも交流を深める。

10 月 31 日、11 月 28 日、12 月 12 日

百済・大内文化交流研修会が開催され、市内・県内各地の百済、大内文化にまつわる寺社・遺跡等をまわるバスツアーを行うとともに、シンポジウムを開催する。

11 月 15 日から 11 月 18 日

趣味・特技を生かした作品づくりを通して、姉妹都市を知り、公州市民との親交を深めることを目的に「山口市親善交流訪問団～『公州市』を見て触れて感じる訪問団～」(國重育生団長以下 10 名)が公州市を訪問。麻谷寺や鶏龍山、福祉施設などを視察する。また、10 月に山口市を訪問した団員も視察に同行し、更なる交流を深める。

12 月 15 日から 12 月 27 日

親善交流訪問団員(山口市 8 名、公州市 8 名)による『山口市・公州市親善交流訪問団作品展』が山口市役所 1 階市民ホールで開催される。公州市からは写真、水彩画、デザイン。藁細工など、山口市からは写真、押し花、篆刻、パッチワークなどが展示される。

12 月 20 日

大学間交流のため山口大学を訪れていた公州大学生(6 名)と山東大学生(6 名)が山口市長を表敬訪問する。

平成 17 年(2005 年)

3 月 13 日

日本語を学んでいる外国人と行く“ふれあいバスツアー”を実施。岩国市の錦帯橋・岩国城を見学し、岩国寿司づくりやレクリエーションで市民と交流を深める。日本人 47 名、外国人 21 名が参加。

4 月 18 日

在福岡アメリカ領事館ジョイス・S・ウォング首席領事が着任挨拶を兼ねて山口市長を表敬訪問する。

5 月 10 日

ナバラ州政府訪問団(ミゲル・サンス・セスマ首相以下 8 名)が『愛・地球博』での同州 P R に合わせて来山。山口市長を表敬訪問するとともに、常栄寺雪舟庭などを視察。また、2006 年ナバラ州で開催されるサビエル生誕 500 周年記念行事の P R を行う。

7 月 20 日

山口日本フィンランド協会設立記念『響きあう心』ヤリ・イエッツォネン写真展が山口市菜香庭で開催される。

パンプローナ市 姉妹都市締結 25 周年記念行事

7 月 11 日から 7 月 21 日

パンプローナ市との姉妹都市締結 25 周年を記念し、武田壽生市議会議長をはじめとする公式訪問団と、多々良孝一姉妹都市締結 25 周年記念事業実行委員会委員長をはじめとする市民訪問団の計 32 名が『サン・フェルミン祭り』開催中のパンプローナ市を訪問。記念式典や記念植樹、図書等の贈呈などを行うとともに、同行した山口市造園協会会員による山口公園日本庭園の整備及び整備法の指導を行う。

8 月 4 日

パンプローナ市のナバラ州立パブロ・サラサーテ高等音楽院の交響オーケストラが、第九を歌う会「アンディ フロイデ」との親善友好第九コンサートのために来山する。山口市長を表敬訪問するとともに、山口市民会館大ホールでジョイントコンサートを開催する。

9 月 8 日から 9 月 11 日

～姉妹都市のおふくろの味を覚えよう～とのテーマで、食文化を通じて、姉妹都市をより深く知ることを目的に「山口市食文化交流訪問団」(大田和子団長以下 10 名)が公州市を訪問。市場やスーパーマーケットの見学や共同での調理を行うことで、公州市民の普段の生活を体験し、食文化を通して姉妹都市への理解を深める。

鄒平県との交流(旧小郡町)

※鄒平県は 2018 年 7 月に鄒平市となった。

平成 5 年(1993 年)

2 月 16 日

吉南日本中国友好協会の主催で、鄒平県プロイラー加工技術視察団(趙玉徳副県長以下 8 名)を受入。小郡町を表敬訪問の際、意向書(平等互惠での友好往來の発展、経済等の交流促進、小郡町各界友好訪中団を招聘)を交換する。

6 月 2 日から 6 月 5 日

吉南日本中国友好協会の主催で、技術指導・視察団を派遣。鄒平県を表敬訪問するとともに「地鳥の炭火焼」技術の指導を行う。鄒平県より小郡町への招聘状を託される。

平成 7 年(1995 年)

5 月 11 日から 5 月 17 日

小郡町各界有志による第 1 回小郡町各界友好訪中団(高木和文助役以下、町職員 3 人、議会 1 人、民間 7 人、計 11 名)が派遣され、13 日、「友好交流促進についての議定書」を締結する。

7 月 5 日から 7 月 14 日

鄒平県経済友好視察団(李宝森副県長以下 6 名)が訪日し、7 日、小郡町を表敬訪問する。

11 月 16 日

第 1 回小郡町各界訪中団のメンバーを中心に『小郡町日中親善協会』が設立される。

平成 8 年(1996 年)

1 月 30 日から 2 月 11 日

山東省人民対外友好交流協議団(崔樂生省人民対外友好協会副会長以下 3 名)が訪日し、31 日、小郡町を表敬訪問し交流促進を要請する。

5 月 21 日から 5 月 28 日

第 1 回鄒平県青少年友好訪日団(李澤嶺副県長以下 8 名)が小郡町を表敬訪問する。小郡中学校への交流訪問や町・県内公共施設見学、八方原地区との交流(ボウリング大会、ホームステイ)などを行い、友好を深める。

6 月 20 日から 6 月 26 日

一般公募による第 2 回小郡町各界友好訪中団(重村典夫町日中親善協会理事以下 17 名)が派遣される。

10 月 23 日から 10 月 27 日

「中日友好交流貢献賞」授与式及び友好会議出席のため宮元研道町長以下 4 名が鄒平県を訪問する。町長・助役へ賞が授与される。

11 月 25 日から 11 月 30 日

「日中友好交流功労賞」授与式及び友好会議出席のため、李炳衆県長以下 4 名が訪日。県長・副県長へ賞が授与される。

平成 9 年(1997 年)

8 月 21 日から 8 月 28 日

第 1 回小郡町青少年友好訪中団(高木和文以下 10 名)が鄒平県を表敬訪問する。実験中学校との友好関係について協議書の調印(安田望教育長、肖愛珍実験中学校校長)を行うとともに、第一中学校への友好訪問やホームステイ、施設・名所旧跡の見学を行う。

12 月 5 日から 12 月 12 日

趙玉徳副県長以下 3 名が小郡町、小郡中学校を表敬訪問する。町内各種団体との懇談会、施設等の見学や鄒平県と友好交流関係にある県内企業を訪問。

平成 10 年(1998 年)

7 月 15 日から 7 月 22 日

鄒平県友好 5 周年訪日団(団長宮敬宝県人大主任、鄒平県友好訪問経済考察団 5 名、第 2 回鄒平県青少年友好訪日団 5 名)が訪日し、友好交流 5 周年記念式典(石獅子除幕式・点睛式)に出席するとともに、小郡中学校交流訪問や交流会議、町・県内施設等の見学を行う。

9 月 26 日から 10 月 2 日

小郡町友好 5 周年訪中団(団長宮元研道町長、小郡町政府友好訪中団 4 名、小郡町各界友好訪中団 7 名)が鄒平県を表敬訪問。友好交流 5 周年記念式典(太陽電池式ポール時計「除幕式」)に出席するとともに、施設及び名所旧跡や済南市、青島市の周辺各市を視察する。

＊ 太陽電池式ポール時計は小郡町より 5 周年記念品として贈られたもので、鄒平駅前広場に設置されています。

11 月 9 日

深川養鶏で研修中の鄒平県技術研修生 6 名が小郡町を表敬訪問する。

平成 11 年(1998 年)

6 月 25 日

町日中親善協会主催の、小郡町ふれあいセンターにおいて「中国事情セミナー」が参加者約 100 名を集めて開催される。テーマは鳳城市人民政府駐下関事務所左丁蘭首席代表による「遼寧省鳳城市の現状について」と山東省人民政府外事弁公室アジア処朱曉晨副処長による「山東省－山口県の友好交流」。

8 月 20 日から 8 月 27 日

第 2 回小郡町青少年友好訪中団(杉山一利教育委員会総務課長以下 11 人、うち小郡中学校生徒 6 人)が鄒平県を訪問。実験中学校への交流訪問やホームステイ、第一中学校表敬訪問、教育関係者交流会議などを行う。

9 月 23 日から 9 月 29 日

小郡町日中親善協会の主催で「中華人民共和国建国 50 周年・孔子生誕 2550 年記念友好の旅」が行われ、11 名(一般公募 10 名、協会随員 1 名)の参加のもと、山東省歓迎レセプションへの参加や鄒平県内視察、済南市、泰安市の視察を行う。

11月30日から12月8日

鄒平県人民政府訪日視察団(朱秀東副県長、局長、鎮長など5人、通訳1人、計6人)が、小郡町を表敬訪問、小郡中学校を訪問するとともに、環境保護、組織管理等についての交流会議を行う。また大阪、名古屋において華僑との交流を行う。

平成12年(2000年)

7月25日から8月1日

第3回鄒平県青少年友好訪日団(劉力県長補佐、実験中学校副校長、実験中学校生徒5人、計7人)が小郡町を訪問。小郡中学校交流訪問やホームステイ、町・県内施設等の見学を行う。

8月19日から26日

第3回小郡町青少年友好訪中団(藤井清孝教育委員会社会教育課長以下26名)が鄒平県を訪問。実験中学校訪問やホームステイ、施設見学や済南市等の視察を行う。

平成13年(2001年)

10月20日から10月28日

「小郡町・鄒平県交流展」(町制100周年記念事業)が小郡町文化資料館ギャラリーで開催され、写真パネルや贈呈品・書籍・作品等の展示、交流ビデオの放映などで小郡町と鄒平県の交流の経過を紹介する。

平成14年(2002年)

7月12日から7月19日

第4回鄒平県青少年友好訪日団(趙延奎県長助理・県教委主任以下8名)が小郡町を表敬訪問する。小郡中学校への交流訪問やホームステイを行う。また、町公民館で中国語教室生徒と交流を行う。

10月7日から10月13日

小郡町政府友好訪中団(岩城精二町長、市議会議長、まちづくり推進課長、通訳の4人)が鄒平県を訪問し、町長・県長友好会談を行うとともに鄒平県内・周辺各市の視察を行う。

平成16年(2004年)

4月

鄒平県新庁舎の5月供用開始に合わせて、友好交流10周年記念品として「桜花園」(桜50本、記念碑)を贈呈。新庁舎前の公園に整備される。

8月4日から8月9日

第4回小郡町青少年友好訪中団(加藤紀之教育長以下17人、うち小郡中学校生徒13人)が鄒平県を訪問する。友好交流10周年記念の「桜花園」の贈呈式に参加するとともに、実験中学校での漢詩の朗読やホームステイ、施設見学などを行う。済南市、青島市を視察。

8月18日から8月24日

鄒平県政府友好訪日団(王瑜副県長、県人代常委会副主任、弁公室主任、県庁播電視局長、弁公室僑聯副主席、通訳1人の計5名)が小郡町を表敬訪問。小郡中学校交流訪問、経済交流会議や町・県内施設等の見学を行う。

平成17年(2005年)

7月13日から7月20日

第5回鄒平県青少年友好訪日団(宋可星県監督指導室主任以下10名)が小郡町を訪問。小郡中学校を交流訪問するとともにホームステイや町・県内施設等の見学、中国人留学生との交流会を行う。

平成 17 年(2005 年)

新しい山口市の国際交流

10 月 1 日

山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町の 1 市 4 町が合併し、新しい「山口市」が誕生。旧山口市の姉妹・友好都市であるスペイン・パンプローナ市、中国・済南市、韓国・公州市と旧小郡町と友好交流を行っていた中国・鄒平県を合わせた 4 都市との新たな交流の始まりとなる。

10 月 18 日から 10 月 21 日

公州市から「公州市食文化交流訪問団」(李順植団長以下 16 名)が来山。9 月に公州市を訪問した山口市団員と共にスーパーでの食材の買い出しを行い、豚汁、おでん、ハナッコリーの胡麻和えなど日本・山口ならではの食材の調理を通して山口市への理解を深める。

10 月 23 日

山口留学生交流会と共催で「りんご狩りバスツアー」を実施。留学生、会員等 52 名が参加し交流を深める。

11 月 22 日

山口日本フィンランド協会の招待により、サンタ村として世界的に有名なフィンランドのロヴァニエミ村からフィンランド政府公認サンタクロースが来山。山口市長を表敬訪問するとともに、野田幼稚園などを訪問する。県立大学で開催されたニュー・サンタクロース・ファッションショーに参加する。

11 月 25 日

青年海外協力隊としてアフリカ・マラウイに派遣される藤本九一郎氏が出発に当たり山口市長を表敬訪問する。

平成 18 年(2006 年)

1 月 14 日

在住外国人に基礎的な日本語及び日本の生活習慣を学習してもらうため、「外国人のための日本語講座」を実施。

3 月 12 日

日本語を学んでいる外国人と行く“ふれあいバスツアー”を実施、市内徳地地域の国立徳地少年自然の家を訪問し、コンニャクづくりやもちつき、レクリエーションで市民と交流を深める。日本人 59 名、外国人 16 名が参加。

5 月 13 日

山口県、財団法人山口県国際交流協会と山口市で、新入学留学生を対象にウエルカムバスツアーを開催。市内各地を観光しながら日本文化に触れ合う。

6 月 20 日

サビエルの子孫であるマリチャラル氏が水上スキーで東南アジアから航行し、サビエルとゆかりの深い山口を訪問。

6 月 20 日から 6 月 21 日

鮑志強市長を団長とする済南市政府代表团 8 名が来山。市長表敬訪問のほか、山口情報芸術センター、山口市立中央図書館を視察する。

友好都市協定締結 21 周年並びに新山口市発足後最初の交流団として訪問

7 月 11 日から 7 月 15 日

渡辺市長を団長とする総勢 67 人(公式 8 人、市民 59 人)の山口市済南市友好交流訪問団を派遣。これは、昨年中国国内情勢が不安定だったため、延期された友好都市締結 20 周年の記念事業を実施したもの。友好都市締結 21 周年記念行事では、お互いの文化披露を行い交流を深める。

公式訪問団は、済南市訪問後、鄒平県を訪問。合併後山口市として初の訪問。歓迎式典への参加や県内を視察。

6 月 22 日

JICA 海外ボランティアでホンジュラス共和国へ派遣される田邊梨絵さんが市長を表敬訪問。

7 月 31 日から 8 月 1 日

李峻遠市長をはじめとする公州市公式訪問団 10 名が来山。市長表敬訪問のほか、リサイクルプラザや瑠璃光寺五重塔のある香山公園などを視察。

7 月 30 日から 8 月 6 日

市内の中・高校生 16 名が参加する「海外都市ジュニアホームステイ訪問団」(第 6 回)を実施。シドニーで語学研修のほか、ニューカッスル市のワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、日本文化の紹介やホームステイを行う。

9 月 26 日から 9 月 30 日

長谷川進一氏を団長とする山口市親善交流訪問団 10 名が公州市を訪問。自然を生かした知恵やまちづくりを学びながら、お互いを理解し交流を深める。高麗人参エキスや鶏龍山、自然美術ビエンナーレ、植物園などの視察の他、栗拾い体験を行う。

9 月 29 日

シニア海外ボランティアでホンジュラスへ派遣される中野幸郎さん、アルゼンチンへ派遣川口博行さんが市長を表敬訪問。

10 月 14 日

山口留学生交流会と共催で留学生を対象とした「りんご狩りバスツアー」を開催。留学生、会員など 50 人が参加し、交流を深める。

10 月 16 日から 10 月 19 日

姜壬先団長を団長とする公州市親善交流訪問団 10 名が来山。9 月に公州市を訪問した山口市民訪問団とともに、山口市の自然を体験する。そばうち体験や、徳地セラピー基地を散策。

10 月 20 日から 10 月 23 日

第 6 回山口市・公州市親善交流サッカー大会が公州市で開催。一般市民 7 人、市職員サッカークラブ 20 人が参加。サッカーの試合を通じて交流を深める。

11 月 5 日から 11 月 8 日

姉妹都市締結 25 周年を記念して、パンプローナ市からホアン・ルイス・サンチェス・デ・ムニアイン副市長を団長とする 8 人の記念訪問団が来山。市長表敬訪問のほか、徳地重源の郷、国民文化祭などを視察。国民文化祭の視察では、茶や香、和服の体験のほか、様々な日本文化に触れ、友好の絆を含める。また、市民から集められた紙芝居を贈呈する。

11 月 29 日から 12 月 1 日

陳素鳳副主任を団長とする済南市身体障害者就職視察訪問団 7 人が来山。市長表敬訪問のほか、山口秋穂園と山口障害者職業センター(防府市)を視察。

平成 19 年(2007 年)

1 月 13 日から 3 月 24 日

在外外国人に基礎的な日本語及び日本の生活習慣を学習してもらうため。「外国人のための日本語講座」を実施。

1 月 19 日

駐広島大韓民国総領事館領事徐榮振氏が着任のあいさつのため助役・議長を表敬訪問。

3 月 22 日

JICA海外ボランティアでベリーズへ派遣される田中重宏さんが市長を表敬訪問。

3 月 25 日

日本語を学んでいる外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。柳井市のやまぐちフラワーランドでの散策やレクレーション、白壁の町並みの散策をしながら、市民と外国人の交流を深める。日本人 42 人、外国人 21 人が参加。

4 月 12 日

シルダ・ル・デリックフランス大使夫妻が市長を表敬訪問される。

7 月 5 日から 7 月 9 日

第 2 回済南市国際児童訪問団に参加するため、中学生 6 人(随員 3 人)で済南市を訪問。世界の 18 の国と地域から青少年 330 人が集まり、お互いの国の文化披露や、済南市内の見学や学校訪問、雑技の鑑賞を通して交流を深める。

8 月 5 日から 8 月 12 日

市内の中・高校生 16 人が参加する海外都市ジュニアホームステイ訪問団(第 7 回)を実施。シドニーでの語学研修のほか、ニューカッスル市のワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、日本文化の紹介やホームステイを行う。

8 月 19 日から 8 月 23 日

泰長清済南市歴城区教育局副局長を団長とする済南市友好教育訪問団 7 人(中学生 3 人を含む)が来訪。市内の学校と友好関係を築くこと、教育現場の視察、青少年交流を目的として訪問。鴻南中学校では部活動紹介などで多くの生徒と交流を行う。山口高校でも意見交換や部活動の見学を行う。また、7 月に済南市を訪問した中学生と共に、秋穂浜辺での交流も行い、友情を深める。

9 月 4 日

在福岡米国領事館マルゴ・J・キャリントン首席領事が着任の挨拶のため市長を表敬訪問。

9 月 18 日

JICA海外ボランティアでインドへ派遣される松原友美さんが副市長を表敬訪問。

百済文化祭市民参加訪問団の旅 朝鮮通信使来日 400 年を記念・姉妹都市締結 15 周年記念行事

10 月 12 日から 10 月 14 日

入交知則百済文化祭参加実行委員会委員長をはじめとする「百済文化祭市民参加訪問団」の 154 人の市民と、吉田正治副市長、武田寿生市議会議長ほか計 10 人の公式訪問団が公州市を訪問し、韓国三大文化祭の一つ「第 53 回百済文化祭」に参加し、大内のお殿様やよさこい踊りを沿道の市民に披露。大きな歓声を受け、相互友好の深まりとさらなる発展のステップとなる。

10 月 15 日

10 月 12 日から百済文化祭へ参加していた副市長、市議会議長ほか合計 10 人の公式訪問団は、帰路慶尚南道昌原市を訪問。朴完洙(パク・ワンス)昌原市長から本市との交流を希望する意向を受けての訪問。

10 月 20 日

山口留学生交流会と共催で留学生を対象とした「りんご狩りバスツアー」を開催。留学生、会員など 88 人が参加し、交流を深める。

11 月 29 日

宇部市を訪問中の朴完洙昌原市長が、山口市役所に市長を表敬訪問。今後交流を進めていくことを両市長が確認する。

12 月 20 日

JICA海外ボランティアでパキスタンへ派遣される斎藤正彦さんが副市長を表敬訪問。

平成 20 年(2008 年)

1 月 12 日から 3 月 22 日

在住外国人に基礎的な日本語及び日本の習慣を学習してもらうため、「外国人のための日本語講座」を実施。

3 月 9 日

日本語を学んでいる外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。下関市のみもすそ川公園・赤間神宮・唐戸市場を見学した後、関門汽船で門司港レトロに移動し、散策をしながら、市民と外国人の交流を深める。日本人 53 人、外国人 26 人が参加。

3 月 19 日

JICA ボランティアでドミニカ国に派遣される志賀希代子さんとドミニカ共和国に派遣される白神博昭さんが市長を表敬訪問される。

3 月 18 日から 3 月 21 日

全洪南団長をはじめとする「親善交流訪問団」9 人が来山。山口市の阿知須地域で盛んに作られている「ひなもん」の制作を山口市民と体験。あわせて市内に展示されているお雛様やかわいい人形などを鑑賞し、姉妹都市山口との交流を深める。

4 月 16 日から 4 月 17 日

「韓国女性農業人公州市連合会」25 人が日本の農業視察のため、姉妹都市である本市を訪問。この訪問のきっかけは、2001 年度交流事業に参加した両市民の友好がきっかけとなり、2001 年度交流事業に参加した山口市民の方々が市菜香亭で手作りのお茶のご接待をされ友好を深める。

5 月 20 日から 5 月 23 日

林栄美子団長をはじめとする「親善交流訪問団」10 人が公州市を訪問。3 月に山口市を訪問した市民とともに十字繡やキムチづくりを体験することで、姉妹都市への理解を深める。

5 月 25 日から 5 月 27 日

済南市から「済南市友好教育考察団」(劉向偉団長外 5 人)が来山。日本の教育現場や専門教育についての視察のため、市内小・中・高校の訪問や教育委員会との意見交換、市長表敬訪問や市内視察などを行い、交流を深める。

5 月 28 日

山東大学 S D 研修生が副市長を表敬訪問する。

5 月 29 日

許徳行(ホ・トクヘン)駐広島韓国総領事が、着任の挨拶に市長を表敬訪問する。

6 月 2 日から 6 月 4 日

昌原市で開催された 2008 年都市環境国際シンポジウムに参加し、山口市の環境行政について発表。慶尚南道昌原市、山東省済南市、山口市、昌原大学校、山東大学、山口大学の 6 者が参加し、それぞれから事例や研究発表及びパネルディスカッションを行う。

6 月 20 日

JICA 青年海外協力隊でガーナへ派遣される伊藤佳奈さんと、中国へ派遣される関本和恵さんが、市長を表敬訪問する。

姉妹都市締結 15 周年記念公州市訪問団

8 月 4 日から 8 月 7 日

公州市との姉妹都市締結 15 周年を記念して、公州市からユンソッヒョン市民局長をはじめとする公式訪問団 7 人と公演団 16 人が来山。山口七夕ちょうちんまつりで韓国伝統民俗総合劇『石松里燈火祭』の公演をし、公州市の伝統文化の披露を行った。また、2008 年 5 月に公州市を訪問した山口市民の皆様が市菜香亭にて手作りのお茶のご接待をされ友好を深める。

8 月 17 日から 8 月 24 日

市内の中・高校生 16 人が参加する海外都市ジュニアホームステイ訪問団(第 8 回)を実施。シドニーでの語学研修のほか、ノースサイド・モンテッソーリ・スクールを訪問し、日本文化の紹介やホームステイを行う。

8 月 25 日から 8 月 29 日

友好都市中国済南市へ「山口市青少年友好交流訪問団」(中学生 5 人、随員 3 人)を派遣。済南市で日本語を学ぶ生徒との文化交流やホームビジットを通じ、お互いの理解を広げ、交流を深める。

9 月 19 日

JICA 海外ボランティアでベトナムへ派遣される徳本絢さんが、市長を表敬訪問。

9 月 25 日から 9 月 28 日

韓国慶尚南道昌原市で開催された「2008 年昌原市教育都市国際会議」に参加。社会教育委員の原田洋子氏から「市民意識の向上」の事例発表において、「秋穂地域の図書館づくりに関する諸活動」について発表。その他参加各都市の生涯学習の現状を聴講する。

10 月 25 日

山口留学生交流会と共催で、留学生を対象とした「りんご狩りバスツアー」を開催。留学生、会員など 94 人が参加し、交流を深める。

11 月 3 日から 11 月 6 日

韓国全羅南道霊岩郡で開催された「第 10 回日中韓 3 か国地方政府交流会議」に参加。吉田正治副市長が、「韓国、環境分野の地域活性化事例」をテーマに発表を行う。

11 月 8 日から 11 月 11 日

山口南総合センターにおいて、「第 7 回山口市・公州市親善交流サッカー大会」が行われる。公州市役所及び公州市サッカー連合会から計 35 人が来山。山口市役所サッカー部、山口市民との交流試合を行い、スポーツを通じて姉妹都市市民同士の親交を深める。

11 月 13 日から 11 月 16 日

韓国昌原市へ橋本芳郎さんを団長とする親善交流訪問団 7 人を派遣。「2008 注南貯水池渡り鳥祭り」への参加を通し、野鳥観察や環境保全について昌原市民との交流を行う。

平成 21 年(2009 年)

1 月 10 日から 3 月 28 日

在住外国人に基礎的な日本語及び日本の習慣を学習してもらうため、「外国人のための日本語講座」を実施。

3 月 8 日

日本語を学んでいる外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。長門市青海島通(かよい) 地区で乗船、魚釣り、わかめ干しの体験のほか、島内を散策しながら、市民と外国人の交流を深める。日本人 33 人、外国人 35 人が参加。

3 月 17 日

JICA 海外ボランティアでカンボジアへ派遣される川口博行さんが市長を表敬訪問。

4 月 20 日から 4 月 23 日

丁錫鎮氏を団長とする公州市親善交流訪問団 10 人が来山。今年は、両国の伝統である「和紙」と「韓紙」をテーマに交流。重源の郷で、紙細工によるちょうちんの製作体験を通して、両市の友好を深める。

6 月 1 日

姉妹都市韓国・公州市の市役所ヒヨドリサッカー部及び公州市サッカー連合会会長の權正宅（グエンチョウタグ）様から、新型インフルエンザ対策用マスク合計 2,080 枚の寄付を受ける。

6 月 13 日から 6 月 16 日

第 7 回中国済南国際園林花卉博覧会に山口市から庭園を出展するため、山口市造園協会の技師 2 人を済南市へ派遣。

6 月 23 日

園林花卉博覧会の視察のために下関市を訪れていた済南市の訪問団が来山。山口市が出展する庭園のイメージとなった常永寺雪舟庭や凌雲寺を視察。

6 月 28 日から 6 月 30 日

昌原 I A E C アジア太平洋ネットワーク第 1 回地方会議に参加し、市立中央図書館職員が山口市の図書館行政について事例発表を行う。

7 月 30 日から 8 月 3 日

第 7 回中国済南国際園林花卉博覧会に山口市から庭園を出展するため、山口市造園協会の技師 3 人を済南市へ 2 回目の派遣。

8 月 7 日から 8 月 9 日

昌原市、済南市との連携を強め、また大学と連携しながら共通の課題について事例や研究発表を行うことを目的に、「3 都市・3 大学国際シンポジウム」を山口市で開催。今年は観光をテーマに実施。シンポジウムのほかに、3 都市の紹介パネル展示、お茶やお菓子の試食などを行い、両市への理解を深める。

9 月 14 日

JICA 海外ボランティアで中国へ派遣されている木花信一郎さんが市長を表敬訪問。

9 月 22 日

第 7 回中国済南国際園林花卉博覧会が開幕。山口市から開幕式に西村平理事を団長とする訪問団 5 人を派遣。

10 月 19 日

山口日英協会主催の「イングリッシュオークの木のスケッチ大会」(10 月 10 日山口大学構内で開催)で優秀作品に選ばれた 20 点を市役所ロビーで展示。

10 月 24 日

山口留学生交流会と山口ユネスコ協会との共催で留学生を対象とした「りんご狩りバスツアー」を開催。留学生、会員など 94 人が参加し交流を深める。今年は船方牧場で乳搾り体験も行う。

11 月 2 日

山東大学婁紅祥副学長ほか 8 人の山東大学関係者が市役所を表敬訪問。

11 月 4 日から 11 月 6 日

王磊団長をはじめとする済南市教育友好訪問団 4 人が来山。日本の高等専門教育現場の視察を行う。山口農業高等学校、西京高等学校、中村女子高等学校を訪問。

11 月 16 日から 11 月 17 日

山口市と昌原市の姉妹都市締結調印のため、渡辺純忠市長、浅原利夫市議会議長ほか 10 人が昌原市を訪問。昌原市側は、朴完洙市長、金潤洙副市長、鄭蓮嬉市議会総務委員長ほか 10 人が出席。

平成 22 年(2010 年)

3 月 14 日

日本語を学んでいる外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。岩国市で岩国寿司づくり体験や、錦帯橋周辺の散策をしながら、市民と外国人の交流を深める。日本人 59 人、外国人 26 人が参加。

6 月 18 日

JICA 海外ボランティアでエチオピアへ派遣される吉松茉莉さんが表敬訪問。

6 月 29 日

フィンランドのロヴァニエミ市職員 2 人(市商業課長のエルキ・イルマリ・カウット氏、ロバニエミ開発機構 機構長ユハ・ペルティ・アンテロ・セッパラ氏) が来山。市役所を表敬訪問し総務部及び経済産業部と意見交換をする。

6 月 30 日から 7 月 1 日

昌原市が、馬山市、鎮海市と合併し、新しい昌原市としてスタートを切る。合併記念式典に吉田正治副市長ほか 3 人が参加。

済南市友好都市締結 25 周年記念行事及び鄒平県公式訪問(2010 年)

7 月 12 日から 7 月 16 日

渡辺市長を団長とする総勢 42 人(公式 8 人、市民 34 人)の山口市済南市友好交流訪問団を派遣。友好都市締結 25 周年の記念事業を実施。記念行事では、昨年済南市で開催された園林博覧会に出展した「山口園」の銘板除幕式や済南市政府主催の記念式典に参加。また、公式訪問団は、山口市の P R や観光客誘致のための意見交換を行った。公式訪問団は、引き続き鄒平県を訪問し、表敬訪問や県内の視察の他、山口市の P R や観光客誘致のための意見交換を行った。市民訪問団は済南市を離れた後は、旅順、大連、上海の観光を楽しんだ。

8 月 1 日から 8 月 3 日

韓国慶尚南道の昌原市との姉妹都市締結 1 周年を迎えることを記念して、昌原市の小学生(小学生 13 人、随員 5 人)と徳地中央サッカースポーツ少年団(小学生 14 人、監督コーチ 2 人)、レオーネ山口(小学生 23 人、監督コーチ 3 人)の親善交流サッカー大会を開催。サッカーの試合のほか、徳地青少年自然の家で小学生同士の共同生活を行いながら、お互いの理解と友好を深める。

8 月 1 日から 8 月 8 日

市内の中・高校生 16 人が参加する、「海外都市ジュニアホームステイ訪問団」(第 9 回)を実施。シドニーで語学研修と、ノースサイド・モンテッソーリ・スクールを訪問し、日本文化の紹介やホームステイを行う。

8 月 23 日から 8 月 24 日

李寛端団長をはじめとする済南市温泉開発利用視察団が来山。市長表敬訪問のほか、湯田温泉を活用したまちづくりの様子について視察。

10 月 9 日から 10 月 12 日

山口久美子団長をはじめとする山口市親善交流訪問団 10 人が公州市を訪問。昨年 4 月に山口市を訪問された市民とともに「2010 世界大百済典」で開催される市民パレードで使われる、百済人をモチーフにしたお面作りを体験するほか、同イベント会場を見学しながら、姉妹都市への理解を深めた。

また、山口市民のよさこい踊り訪問団も 10 月 9 日の世界大百済典市民パレードや 10 月 10 日の文化披露ステージに参加して、多くの公州市民の前でよさこい踊りを披露した。

10 月 12 日から 10 月 16 日

昌原市、済南市との連携を強め、また大学と連携しながら、共通の課題について事例や研究発表を行うことを目的に、「3 都市・3 大学国際シンポジウム」が済南市で開催。今年は環境をテーマに実施。

パンプローナ市 姉妹都市締結 30 周年記念行事(2010 年)

10 月 17 日から 10 月 26 日

パンプローナ市との姉妹都市締結 30 周年を記念し、渡辺純忠市長をはじめとする公式訪問団と多々良孝一姉妹都市締結 30 周年記念事業実行委員会委員長をはじめとする市民訪問団の計 21 人がパンプローナ市を訪問。記念式典や記念植樹のほか、現地学校を訪問して市民有志によるエプロンシアターの披露などの交流事業が行われた。また山口ナバラの会からは山口図書館へ DVD 資料収集のために、500 ユーロが寄付された。

10 月 23 日

山口留学生交流会と共催で、留学生を対象とした「りんご狩りバスツアー」を開催。留学生、会員など 76 人が参加し交流を深める。

10 月 31 日から 11 月 2 日

昌原市で開催される昌原フェスティバルに招待を受け、上野総務部長、楳本参事と通訳の 3 人が参列。

11 月 3 日から 11 月 7 日

姉妹都市締結 30 周年を記念して、ナバラ州で活躍している芸術家による絵画・写真展が行われる。また、パンプローナ市在住の芸術家アリシア・オタエギ氏と小島鮎子氏によるワークショップが山口井筒屋 5 階催事場で開催される。このワークショップには、山口県立大学、山口芸術短期大学、中村女子高等学校、野田学園高等学校の学生が参加。赤と白の不用品を材料にして共同で作品を完成させた。

11 月 20 日から 11 月 23 日

第 8 回山口市・公州市親善交流サッカー大会が公州市で開催。山口市民と山口市役所サッカー部との交流試合を行い、スポーツを通じて姉妹都市市民同士の親交を深める。山口市からは市役所サッカー部と市民合わせて 23 人が訪問。

12 月 8 日

オーストラリアロックハンプトン女子中等学校の学生が市長を表敬訪問

12 月 16 日

JICA 海外ボランティアでネパールへ派遣される木花一さんが市長を表敬訪問。

12 月 20 日から 23 日

姜昌烈団長をはじめとする公州市親善交流訪問団 10 人が来山。21 日に副市長への表敬訪問のほか、山口ふるさと伝承総合センターで祝儀袋づくり体験を山口市民とともに行う。また、「日本のクリスマスは山口から」のイベントで彩られる山口のまちづくりを見学。

平成 23 年(2011 年)

3 月 13 日

日本語を学んでいる外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。阿東徳佐でそばうち体験や、城下町津和野の散策をしながら、市民と外国人の交流を深める。日本人 48 人、外国人 27 人が参加。

3 月 17 日

JICA 青年海外協力隊でインドへ派遣される山尾和宏さんと、シニア海外ボランティアでバヌアツへ派遣される藤井祐一さんが副市長を表敬訪問。

4 月 22 日

国際協力機構（JICA）のシニア海外ボランティアで、カンボジアに派遣されていた川口博行さんが帰国報告のため、総務部長を表敬訪問。青少年活動。

5 月 16 日

駐広島大韓民国総領事館辛亨根（シンヒョンゲン）総領事が市長を表敬訪問。

6 月 13 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として、タンザニア・リンディのキルワ中学校に、理科と数学の教師として赴任する石川昌和さんが、市長を表敬訪問。

7 月 23 日から 7 月 26 日

金恵植（キムヘシク）団長をはじめとする公州市親善交流訪問団(市民 8 人、随員・通訳 2 人)が来山。両市の共通した環境を生かした取り組みを通してお互いを理解し友好を深めることを目的に、徳地地域串地区を訪れ、中山間地域活性化の取り組みを体験。野菜の収穫や地元の食材を使った料理の体験、天神の滝散策、和紙を使った工作、浴衣の着付け体験をして祇園祭りを見学。

7 月 31 日から 8 月 7 日

市内の中学生 3 人・高校生 13 人が参加する、海外都市ジュニアホームステイ訪問団(第 10 回)を実施。随員 3 人。シドニー市内での語学研修とキャラハン・カレッジのワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、日本文化の紹介や、授業体験、野外活動、ホームステイを行う。

10 月 24 日

国際協力機構（JICA）のシニア海外ボランティアとして、乳牛飼育の指導のため、中国黒龍江省に派遣されていた木花信一郎さんが、帰国報告のため総務部長を表敬訪問。

10 月 29 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を開催。山口大学、山口県立大学の留学生およびその家族、留学生交流会会員合計 74 人が参加。大型バス 2 台で阿東徳佐中のなかおりんご園を訪れ、交流を深めた。

10 月 4 日から 7 日

山本彰治団長をはじめとする山口市親善交流訪問団 9 人(市民 7 人、通訳、随行 2 人)が公州市を訪問。「5 都 2 村」公州市ムルシル唐辛子村のキムチ体験館を訪れ、キムチづくりを体験した。第 57 回百済文化祭を見学。

10 月 24 日

国際協力機構 (JICA) のシニア海外ボランティアとして、乳牛飼育の指導のため、中国黒龍江省に派遣されていた木花信一郎さんが、帰国報告のため総務部長を表敬訪問。

10 月 29 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を開催。山口大学、山口県立大学の留学生およびその家族、102 人が参加。大型バス 2 台で阿東徳佐中のなかおりんご園を訪れ、交流を深めた。

11 月 10 日から 11 月 13 日

韓国昌原市で、環境をテーマに、「3 都市・3 大学国際シンポジウム」が開催される。昌原市、昌原大学校、済南市、山東大学、山口市、山口大学が参加。市上下水道局岡村博巨次長を団長として、下水道施設課の横山典充課長が事例発表。山口大学からは、金折裕司教授が研究発表。

11 月 23 日及び 11 月 27 日

日本語を学ぶ外国人とのふれあいツアーを実施。山口市仁保の「帰郷庵」で中山間地域の体験、ピザづくり、散策、シイタケ狩り、散策などをしながら、市民と外国人の交流を深める。参加者は 2 日間で、一般大人 24 人、子供 9 人、未就学児 12 人、外国人大人 38 人、子供 1 人、未就学児 6 人、国際国流室 3 人、計 93 人

12 月 14 日

山口大学の招へいで来日していた山東大学の研修生 3 人(姫鋭、李永在、馬毓軒)が市役所(国際交流室)を表敬訪問。

平成 24 年(2012 年)

2 月 2 日から 6 日

大歳小学校の藤田辰夫校長を団長とする山口市青少年交流訪問団(小学生 4 人、中学生 5 人)が、友好都市中国済南市を訪問し、経五路小学校、済南外国語学校中学部を訪問し、日本文化の紹介を行うとともに、済南外国語学校の生徒が通訳補助となって、経五路小学校の生徒の家庭でホームビジットを体験。帰路に上海市を見学。

2 月 2 日

国際協力機構 (JICA) の青年海外協力隊として、村落開発普及のために、ケニアに派遣される石村文(いしむらあや)さんが、総務部長を表敬訪問した。

3 月 7 日~9 日

やまぐちエコ倶楽部会長の吉村京団長を始めとする「昌原市環境交流訪問団」8 人が、韓国昌原市を訪問。姉妹都市締結後、初の市民訪問団の訪問事業で、環境問題という共通の目的をもった市民同士の交流として意見交換を行う。昌原市の受け入れの主体は、グリーン昌原 21 実践協議会。

3 月 19 日

スペインのナバラ州立大学のハビエル・カサリー副学長(国際関係担当)が副市長を表敬訪問。続いて、山口ナバラの会の多々良会長と重政事務局長と面談。同行者は山口県国際交流員のホルヘ・ガルエ氏。

6 月 18 日

国際協力機構 (JICA) の青年海外協力隊でウガンダへ派遣される光廣直貴さんが、総務部長を表敬訪問した。獣医、衛生。

7 月 26 日から 7 月 30 日

白石小学校の浦田敏明校長を団長とする「山口市青少年書道交流訪問団」(小学生 4 人、中学生 3 人)が、友好都市中国済南市を訪問し、日本、中国、韓国の 3 カ国の青少年による「2012 中日韓友好都市青少年書道サマーキャンプ」に参加。済南市青少年宮での書道の実演や一般家庭でのホームステイのほか、孔子のふるさと曲阜市で、孔廟などを見学。帰路で、上海市見学。

7 月 26 日から 29 日

金春元(キム・チュンウォン) 団長をはじめとする公州市親善交流訪問団(市民 8 人、随流通訳 2 人)が来山。秋に訪問予定の山口市民 10 人と、山口ふるさと伝承総合センターで、萩焼の陶芸体験を行い、山口市菜香亭において、浴衣の着付けを体験。山口サビエル記念聖堂、国宝瑠璃光寺五重塔、一の坂川を散策、夜は、山口祇園祭の御還幸を見学。

7 月 30 日から 8 月 6 日

市内の中学生 12 人・高校生 4 人の合計 16 人と随行 3 人が参加する、海外都市ジュニアホームステイ訪問団(第 12 回)を実施。ニューサウスウェールズ州ニューカッスル市のワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、日本文化の紹介や、授業体験、野外活動、ホームステイを行う。

9 月 20 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊で、日本語教師としてタイに派遣される天野健太さんが総務部長を表敬訪問。

10 月 9 日

昌原市、済南市との連携を強め、また大学と連携しながら、共通の課題について事例や研究発表を行うことを目的に、山口市湯田温泉のホテル松政で、姉妹都市である韓国の昌原市及び山口大学と学術交流協定を結ぶ中国済南市にある山東大学、韓国の昌原大学校から関係者を招き、山口市・山口大学を交えた 5 者により、5 回目となる「3 都市・3 大学国際シンポジウムを開催。（中国・済南市は不参加）

今回のテーマは、魅力的な食の提供による地域経済の活性化、地域の農林水産業などの食関連産業の育成、食に関するソフト事業の取り組み、食による地域ブランド化の促進など、「食」を通じた地域の活性化と日中韓 3 カ国の経済交流の促進」。約 150 人が参加。

ロビーに展示コーナーを設置し、姉妹・友好都市の済南市と昌原市を紹介。試食コーナーでは、昌原市のチネコン(鎮海豆)、中国のクルミのお菓子、プーアル茶、韓国のトウモロコシ茶を提供。山口市から、外郎、阿東・嘉年のスイカの乾物、長門峡のなしの乾物、鮎のからあげ、カイガラアマノリ、カワラケツメイ茶を提供した。

10 月 28 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を開催。山口大学、山口県立大学の留学生およびその家族、留学生交流会会員合計 102 人が参加、大型バス 2 台で阿東のりんご園を訪れ、交流を深めた。

平成 25 年(2013 年)

1 月 24 日から 1 月 27 日

岡屋義之団長をはじめとする山口市親善交流訪問団 10 人（市民 8 人、随行・通訳 2 人）が、韓国公州市を訪問。鶏龍山陶磁芸術村で、7 月に山口市を訪問した公州市民と共に陶芸を体験。合わせて、公州韓屋村で韓国茶道体験や武寧王陵、公州国立博物館、石壯里博物館、公山城、古くからの市場を見学。帰路、ソウル市内を見学。

2 月 12 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として、2011 年 1 月から 2013 年 1 月までネパールに赴任していた山口市嘉川の木花一（きはなはじめ）さんが帰国報告のため、総務部長を表敬訪問。2 年間の活動として、職業訓練校で教諭や生徒に自動車整備を指導したことを報告。

2 月 15 日から 2 月 17 日(2 月 18 日帰国)

やまぐちサッカー交流広場において、第 9 回山口市・公州市親善交流サッカー大会が行われる。公州市役所及び公州市サッカー協会から計 35 人が来山。山口市役所サッカー部、山口市民と 3 試合の交流試合を行い、スポーツを通じて姉妹都市の市民同士の親交を深める。

2 月 19 日

在大阪モンゴル国総領事館のダンバルダルジャー・バッチジャルガル総領事が市長を表敬訪問。

3 月 8 日から 3 月 10 日(3 月 11 日帰国)

全占錫（ジョン・ジョムソク）団長をはじめとする昌原市環境交流訪問団 7 人（グリーン昌原 21 実践協議会 5 人、昌原市環境首都課 2 人）が来山。環境部及び「やまぐちエコ倶楽部」が受入の中心となり、両市の環境保護活動を実践する市民活動団体の活動の概要を知るとともに、山口市が実践している環境保護に資する市民活動の実践事例を視察。森林セラピー体験、ホテルの人工飼育の状況、24 時間資源物ステーションの視察などを実施。

3 月 24 日

日本語を学ぶ外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。柳井市の金魚ちょうちんづくり体験や白壁の町並みをボランティアガイドと散策、また、防府天満宮を訪問し、市民と外国人の交流を深める。日本人 46 人、外国人 51 人が参加。

4 月 24 日

国際協力機構（JICA）ボランティアで派遣されていた、山尾和宏さんと藤井祐一さんが任務を終えて、帰国報告のため市役所を表敬訪問される。

山尾さんは、青年海外協力隊で、2011 年 3 月 29 日から 2013 年 3 月 28 日まで、日本語教師としてインドへ派遣。藤井さんは、シニア海外ボランティアで、2011 年 3 月 24 日から 2013 年 3 月 23 日まで、理数科教師としてバヌアツへ派遣。

5 月 27 日

駐日ペルー共和国大使館エラルド・エスカラ特命全権大使が、市長を表敬訪問される。山口県ペルー協会の招きで、2013 年 3 月に、本市の運用が終了した救急車と消防ポンプ自動車の 2 台を、山口県ペルー協会を通じて、ペルー山口学校が所在する首都リマ市のサンタ・アニタ区に寄贈したことを受けたもの。

6 月 1 日

山口情報芸術センター(スタジオC)で、公州市との姉妹都市締結 20 周年を記念して、「韓国映画上映会」を開催。午後 1 時 30 分「ハーモニー 心をつなぐ歌」(2012 年 カン・テギョン監督)、午後 4 時「牛の鈴音」(2008 年 イ・チェンニョル監督)を上映。2 回の上映で、延べ 110 人が入場。

姉妹都市締結 20 周年記念 公州市訪問団が山口市を訪問

7 月 19 日から 7 月 21 日

公州市との姉妹都市締結 20 周年を記念して、公州市から、李峻遠(イ・ジュンウォン)公州市長を団長とする公式訪問団 11 人と公演団 14 人が来山。高光喆(コ・グァンチョル)公州市議会議員も参加。3 日間のうち、公式訪問団は、市長、議長への表敬訪問、市役所前庭での記念植樹、山口情報芸術センター(YCAM) 10 周年記念祭の視察、山口祇園祭や国宝瑠璃光寺五重塔の見学など、市民との友好を深める。

7 月 20 日

韓国伝統音楽を紹介する公演団の「公州市忠南燕亭(チュナムヨンジョン)国楽院」が、クリエイティブ・スペース赤れんがと山口市菜香亭の 2 カ所で、「韓国伝統音楽と出会う、楽しいひと時」と題した演奏会を開催。音楽文化を通じて、姉妹都市公州市を紹介した。

【関連行事】

7 月 19 日から 7 月 21 日

山口市日韓親善協会(会長:多々良健司)との共催で、山口市公州市姉妹都市締結 20 周年を記念して、クリエイティブ・スペース赤れんがで、「日韓交流の絆展」を開催。これまでの山口市と公州市との交流の歩み、山口・公州ジュニア交流隊の活動などを、写真やパネル、映像などで紹介。

8 月 12 日から 8 月 19 日

第 13 回となる、山口市海外都市ジュニアホームステイ訪問団(中学生 8 人、高校生 8 人、随員 3 人 計 19 人)が、オーストラリアを訪問。ニューサウスウェールズ州ニューカッスル市にあるワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、ホームステイを行い、日本の文化披露や現地の生徒と交流。

9 月 19 日

国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊として、2013 年 10 月から 2015 年 10 月まで、ジャマイカに派遣される村田明日香さんと田村阿弥さんの 2 人が総務部長を表敬訪問。村田さんは、コミュニティ開発(まちづくり)の指導で、ジャマイカのマンチェスター教区マンデビル(マンチェスター教区開発委員会)へ、田村さんは、日本語教育(日本語の教師)として、ジャマイカのキングストン(西インド諸島大学モナキャンパス)へ派遣。

9 月 28 日から 10 月 1 日

大原健団長をはじめとする山口市親善交流訪問団 6 人(市民 4 人、通訳、随員 2 人)を公州市に派遣。公州市民と共にウォーキングを体験し、健康づくりや姉妹都市の地域の魅力に触れる交流を行う。市内の武寧王陵、公州国立博物館、公山城、麻谷寺、古くからの市場、そして百済文化祭の開会式等を見学。

10 月 2 日から 10 月 6 日

済南市から「済南市青少年書道交流訪問団」(李牧団長、子供 8 人、随員 3 人)が来山。訪問団は、済南市青少年宮に所属して、書道を愛好している中学生が中心で、白石中学校で歓迎式、3 年生との書道を通じた文化交流、部活動の体験を行うとともに、山口市立中央図書館、山口情報芸術センターなどを訪問。同世代の子供を持つ一般家庭へのホームステイも体験。

10 月 11 日

在スペイン日本国特命全権大使の佐藤悟氏が、吉田正治副市長を表敬訪問。山口県とスペイン・ナバラ州の姉妹提携 10 周年、日本・スペイン交流 400 周年の節目を迎えるため、一時帰国中に山口県を訪問された。

10 月 13 日

山口留学生交流会と共催で、市内の留学生を対象とした、「りんご狩りバスツアー」を開催。山口大学、山口県立大学の留学生およびその家族と、会員の 110 人が参加し、交流を深める。

11 月 1 日から 11 月 5 日

友好都市済南市へ、「山口市青少年卓球交流訪問団」(中学生 3 人・随員 3 人)を派遣。済南市青少年宮で卓球を愛好する生徒と、卓球を通じた交流を行うとともに、一般家庭でのホームステイのほか、済南市の美しい泉の見学や孔子のふるさと曲阜市の歴史文化遺産、また帰路に、青島市を見学。

11 月 11 日

富山県富山市の富山国際会議場で開催された「第 15 回日中韓 3 か国地方政府交流会議」(主催：財団法人自治体国際化協会、富山県)に参加。吉田正治副市長が、パネルディスカッション 2「地域の個性を生かした観光振興と国際観光文化交流」でパネリストとして、「地域の個性を活かした観光振興と国際観光・文化交流」と題して発表し、討論に参加。あわせて、自治体 PR 用ブースに出展。

11 月 28 日から 12 月 26 日

山口市立中央図書館で、山口市・公州市姉妹都市締結 20 周年記念事業として、「山口市・公州市交流の歩み展」を開催。46 枚の写真パネルで両市の 20 年間の交流の様子を紹介。

12 月 6 日

山口大学の招へいで来日していた山東大学大学職員 2 人(刘丕平、※韵珩(※は、子へんに、小さい))が市役所国際交流室を表敬訪問。

12 月 26 日

国際協力機構（JICA）のボランティアで、シニア海外ボランティアとしてブータンに派遣される月岡浩二さん、青年海外協力隊としてウズベキスタンに派遣される長谷健司さん、ケニアに派遣される則近由貴さんの 3 人が、市役所に総務部長を表敬訪問。

月岡さんは電気通信、長谷さんは看護師、則近さんは林業・森林保全の分野で活動予定。派遣期間は、2014 年 1 月から 2016 年 1 月まで。

平成 26 年(2014 年)

3 月 23 日

日本語を学ぶ外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。萩市で萩焼上絵付け体験や明治維新ゆかりの松下村塾や城下町をボランティアガイドと散策し、市民と外国人の交流を深める。日本人 62 人、外国人 36 人が参加。

4 月 18 日

2 日、山口大学(41 人)、10 日、山口県立大学(14 人)で実施。

駐広島大韓民国総領事館 徐張恩 (ソ・ジャンウン)総領事が山口市長を表敬訪問。

5 月 9 日から 5 月 12 日

任順彬 (いむ すんびん) 団長をはじめとする公州市親善交流訪問団(市民 8 人、随行通訳 2 人)が来山。ウォーキングをテーマに山口市民 10 人と、徳地森林セラピー基地にてセラピー体験を行い、重源の郷において、徳地和紙の紙漉きを体験。また長門峡でのウォーキングや国宝瑠璃光寺五重塔を見学した。

5 月 28 日

バングラデシュ地方都市行政能力強化プロジェクトとしてバングラデシュの自治体市長 40 名が山口市役所を訪れ本市が抱える課題についての取り組みや窓口対応業務についての視察を行った。

6 月 26 日

国際協力機構 (JICA) の日系社会青年ボランティアで、日系日本語学校教師としてブラジルに派遣され岩崎志保さんが総務部長を表敬訪問。派遣期間は、平成 26 年 7 月から平成 28 年 7 月。

8 月 6 日

バングラデシュ国別研修「地方行政」としてバングラデシュの中央省庁の職員 15 名が山口市役所を訪れ本市の防災対策や窓口対応業務についての視察を行った。あわせてリサイクルプラザを視察した。

8 月 6 日

ティム・ヒッチنز駐日英国特命全権大使が、渡辺市長を表敬訪問された。大使御自身と山口県との関わりや長州五傑を通じたイギリスと山口市の歴史的繋がり、山口市のまちづくり、姉妹友好都市との交流、七夕ちょうちんまつり、大河ドラマ等、様々な話題について歓談された。

8 月 11 日から 8 月 18 日

第 14 回となる、山口市海外都市ジュニアホームステイ訪問団 (中学生 8 人、高校生 8 人、随行 3 人 計 19 人) が、オーストラリアを訪問。ニューサウスウェールズ州ニューカッスル市にあるワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、ホームステイを行い、日本の文化披露や現地の生徒と交流。

8 月 25 日から 8 月 29 日

済南市から「済南市青少年交流訪問団」（孫衛東団長、子供 8 人、随員 3 人）が来山。訪問団は、済南市青少年宮に所属して、卓球、書道、ロボット作りなどを愛好している小・中学生が中心で、阿知須中学校で卓球やひなもん作りで交流。済南市の生徒も書道や自作のロボットを披露。同世代の子供を持つ一般家庭へのホームステイも体験し、ホームステイ先の家族とリフレッシュパーク山口で卓球やソフトバレーを楽しんだ。

百済文化祭参加の旅 姉妹都市締結 20 周年記念行事

9 月 27 日から 9 月 29 日

山口市・公州市姉妹都市締結 20 周年記念事業として公州市訪問参加実行委員会の多々良健司委員長をはじめとする市民訪問団（市民 25 人）と、渡辺純忠市長、俵田祐児市議会議長ほか計 10 人の公式訪問団が公州市を訪問し、韓国三大文化祭の一つ「百済文化祭 2014」に参加し、パレードへの参加やよさこい踊りを沿道の市民に披露。大きな歓声を受け、相互友好の深まりと未来へのさらなる発展のステップとなる。滞在中には記念植樹や、国立公州博物館などを視察し、水車村と呼ばれる村での心温まるもてなしを受けた。

10 月 31 日から 11 月 4 日

友好都市済南市へ、「山口市青少年交流訪問団」（中学生 6 人・小学生 6 人・随員 3 人）を派遣。済南市青少年宮で切り絵細工やしん粉細工の中国伝統美術を通じた交流を行うとともに、一般家庭でのホームステイのほか、済南市の美しい泉の見学や孔子のふるさと曲阜市の歴史文化遺産、また帰路に、青島市を見学。

11 月 22 日から 11 月 24 日

第 10 回山口市・公州市親善交流サッカー大会が公州市で開催。公州市民と公州市役所サッカー部と交流試合を行い、スポーツを通じて姉妹都市市民同士の親交を深める。山口市からは市役所サッカー部、OB と市民合わせて 20 人が訪問。

11 月 28 日

マイケル・シアラー在大阪英国総領事が市長を表敬訪問された。英国はボーイスカウトの発祥の地であり、来年、本市で開催される世界スカウトジャンボリーについても意見交換された。

12 月 24 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊で、看護師としてラオスに派遣される藤村将志さんが総務部長を表敬訪問。派遣期間は、平成 27 年 1 月から平成 29 年 1 月。

平成 27 年(2015 年)

1 月 26 日

ウィリアムソン教授御子孫の歓迎交流会が開催された。今から約 150 年前、長州ファイブの英国留学を支えていただいたロンドン大学ウィリアムソン教授の御子孫であるサリアン・ファイソンさんとその娘のアメリア・ファイソンさんが山口市を訪問されたもの。

2 月 19 日

パンプローナ市との姉妹都市締結 35 周年を記念して「姉妹都市パンプローナの紹介とスペイン映画上映会」を開催。市内在住のスペイン人の山口県国際交流員マリア・ルビオさんとエフライン・ビジャモールさんに講演を依頼し、「朝食、昼食そして夕食」を上映した。67 人が参加。

3 月 16 日

山東省訪日代表团 6 名（団長山東省人民対外友好協会常務副会長張継剛氏）が市長表敬。済南市人民政府外事弁公室副主任張士平氏も同行された。

3 月 19 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊で、障害児・者支援としてパプアニューギニアに派遣される寺本文人さんとシニア海外ボランティアで数学教育として南アフリカ共和国に派遣される藤井祐一さんが総務部長を表敬訪問。派遣期間は、平成 27 年 3 月から平成 29 年 3 月。

3 月 22 日

日本語を学ぶ外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。徳地地区の「重源の郷」での紙漉き体験や散策しながらの言葉探しゲームを楽しんだ。また防府天満宮を散策し、市民と外国人の交流を深めた。日本人 33 人、外国人 35 人が参加。

4 月 3 日

日仏の交流促進のため駐京都フランス総領事館シャルランリ ブロソー総領事が市長を表敬訪問。

4 月 17 日

日本文化の体験学習をする目的で訪山するインド国のデリー・パブリックスクール・バンガロール南校訪問団が市長を表敬訪問。
す。

5 月 14 日

フィンランド・ロヴァニエミ市のエスコ・ロトゥヴォネン市長、ロヴァニエミ市産業経済連携部長、ラップランド商工会議所副会頭、ラップランド大学事務局長で構成されるロヴァニエミ市代表団が、市長を表敬訪問。

6 月 5 日から 6 月 8 日

李仁培（イ・インベ）団長をはじめとする公州市親善交流訪問団（市民 8 人、随行通訳 2 人）が来山。食文化をテーマに阿東地域で山口市民とそばうち体験交流を行う。また、国宝瑠璃光寺五重塔、狐の足あと、SL などの見学やホテルを鑑賞。

7 月 19 日から 7 月 24 日

第 1 回目となる、東南アジア派遣青少年訪問団（高校生 4 人、随行 2 人 計 6 人）が、シンガポール・マレーシアを訪問。シンガポールでは現地学校や日系企業を訪問し、ホームステイを体験。マレーシアでは、JICA シニア海外ボランティア隊の隊員訪問や派遣先の学校訪問を通して、現地のこどもたちとの交流を深める。

7 月 26 日から 7 月 28 日

公州市呉施徳（オ・シドク）市長、朴炳洙（パク・ビョンス）市議会副議長ほか 10 名による公州市公式親善交流訪問団が来山。市長への表敬訪問、歓迎夕食会。山口情報芸術センター、狐の足あと、山口ふるさと伝承センターなどの市内施設のほか、山口祇園祭御還幸祭、舞奉納など視察。

7 月 28 日から 8 月 8 日

第 23 回世界スカウトジャンボリー大会が、山口市きらら浜で開催。155 の国と地域から約 3 万 4 千人のスカウト等を受け入れる。

8 月 5 日から 8 月 7 日

済南市との友好都市締結 30 周年記念事業として中国共産党済南市委員会鄒世平（スウセヘイ）副主任を団長とする公式訪問団（6 人）と民間芸能訪問団（6 人）が来山。30 周年記念式典や記念植樹、記念晩餐会を開催。また、民間芸能訪問団による「済南デー in 菜香亭」を開催し、中国の民間芸能である面塑・山東琴書・泥塑・皮影戲・微雕・黒陶を披露。

8 月 10 日から 8 月 17 日

市内の中・高校生人が参加する、「海外都市ジュニアホームステイ訪問団」(第 15 回)を実施。ゴールドコースのオーストラリアン・インターナショナル・カレッジ・オブ・ランゲージでの語学研修と、ベノア公立学校を訪問し、日本文化の紹介やホームステイを行った。

8 月 19 日から 8 月 22 日

渡辺市長を団長とする山口市・済南市友好都市締結 30 周年記念訪問団（10 人）を済南市へ派遣（現地集合 1 人を含む。）。あわせて、友好交流の促進議定書締結 20 周年となる鄒平県を訪問。30 周年記念の記念植樹を泉城公園の防長亭で行う。

9 月 24 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊で、観光としてモンゴルに派遣される兼村優子さんとシニア海外ボランティアで柔道としてウルグアイに派遣される宮原健太郎さんが総務部長を表敬訪問。派遣期間は、平成 27 年 10 月から平成 29 年 10 月。

11 月 1 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を開催。山口大学、山口県立大学の留学生およびその家族、留学生交流会会員が参加。大型バス 2 台で阿東のりんご園を訪れ、交流を深めた。

11 月 6 日から 11 月 9 日

白藤花世団長をはじめとする山口市親善交流訪問団 10 人(市民 8 人、通訳・随行 2 人)が公州市を訪問。キムチ作り体験など、韓国の食文化に触れ公州市民との交流を深める。

11 月 12 日から 11 月 17 日

渡辺市長を団長とする山口市・パンプローナ市姉妹都市締結 35 周年記念訪問団（7 人）をパンプローナ市へ派遣。35 周年記念式典や記念植樹をヤマグチ公園で行う。パンプローナ・ヤマグチ公立図書館で日本の紙芝居とスペインの絵本の交換や、サン・ファン・デ・ラ・カデナ公立小学校に大内小学校の児童が作成した「桃太郎」のオリジナル紙芝居を贈呈。

平成 28 年(2016 年)

2 月 17 日

国際協力機構（JICA）のボランティアで、シニア海外ボランティアとしてブータンに派遣されていた月岡浩二さんが、市役所に総務部長を表敬訪問。派遣期間は、2014 年 1 月から 2016 年 1 月まで。

2 月 17 日

在青島日本国総領事館遠山茂総領事が、市長を表敬訪問。

2 月 21 日から 27 日

観光 PR 展示に向けた現地視察のため、本市職員がフィンランド・ロヴァニエミ市を訪問。

3 月 15 日

第 11 回西日本国際財団アジア kids 大賞を受賞された国際交流ひらかわの風の会（中村幸士郎会長）が、受賞報告に市長を表敬訪問。

3 月 21 日から 23 日

鄒平県政府関係者で構成され、鄒平県人民政府張凱副県長をはじめとする「鄒平県政府訪問団」（5 人）が、合併後初来山。市長表敬訪問、市内施設視察。

3 月 24 日

日本語を学ぶ外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。柳井市で金魚ちょうちん作りなどの体験を通して、市民と外国人の交流を深める。

5 月 18 日

バングラデシュ国別研修「地方行政」としてバングラデシュの中央省庁の職員 23 名が山口市役所を訪れ本市の新山口駅ターミナルパーク整備について研修。あわせて、新山口駅自由通路、リサイクルプラザを視察。

6 月 14 日

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるスペイン王国のホストタウンに登録される。

6 月 23 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として、2016 年 7 月から 2018 年 7 月まで、中華人民共和国に派遣される橋本加代さんが総務部長を表敬訪問。橋本さんは、日本語教育（日本語の教師）として、へ派遣。

7 月 24 日から 7 月 29 日

第 2 回となる、東南アジア派遣青少年訪問団（中学生 1 人、高校生 4 人、随員 2 人 計 7 人）が、シンガポール・マレーシアを訪問。シンガポールでは現地学校や日系企業を訪問、マレーシアでは、JICA 青年海外協力隊の隊員訪問やホームステイの体験を通して交流を深める。

8 月 5 日から 8 月 8 日

李福子（イ ポクジャ）団長をはじめとする公州市親善交流訪問団(市民 8 人、随行通訳 2 人)が来山。秋に訪問予定の山口市民と、徳地重源の郷で紙すき体験を行うとともに、七夕ちょうちん祭りで火付け体験やパレードに参加。国宝瑠璃光寺五重塔や秋芳洞などを見学。

8 月 8 日から 8 月 15 日

第 16 回となる、山口市海外都市ジュニアホームステイ訪問団(中学生 5 人、高校生 10 人、随行 3 人 計 18 人)が、オーストラリアを訪問。ニューサウスウェールズ州ニューカッスル市内のワラタ・テクノロジー・キャンパスを訪問し、日本文化披露などを通して現地の生徒と交流を深める。また、ホームステイ体験を行い、オーストラリアの一般家庭で異文化交流を行う。

9 月 20 日から 9 月 24 日

友好都市済南市へ、「山口市青少年交流訪問団」(小学生 4 人・随行 3 人)を派遣。済南市青少年宮で夙に京劇の隈取や泉城公園でスケッチなどの美術体験。制錦市街小学校で合唱の授業の見学や小学生と一緒に書道の授業を体験。済南大学で日本語学科の学生とのアニメ交流。また、一般家庭でのホームステイ体験、済南市の美しい泉を見学。

9 月 30 日から 10 月 3 日

徳吉忠昭団長をはじめとする山口市親善交流訪問団 10 人(市民 8 人、通訳・随行 2 人)が公州市を訪問。百済文化祭の開幕式やパレードに参加し、8 月に来山した公州市民との交流を深める。また、石壯里博物館や武寧王陵、公山城などを見学。

10 月 16 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を開催。山口大学、山口県立大学の留学生およびその家族、留学生交流会会員が参加。大型バス 2 台で阿東のりんご園を訪れ、交流を深めた。

10 月 28 日から 10 月 30 日(10 月 31 日帰国)

スポーツの森多目的広場において、第 11 回山口市・公州市親善交流サッカー大会が行われる。公州市役所及び公州市サッカー協会から計 30 人が来山。山口市役所サッカー部、山口市民と 3 試合の交流試合を行い、スポーツを通じて姉妹都市の市民同士の親交を深める。

11 月 5 日から 11 月 11 日

渡辺市長をはじめとする山口市・ロヴァニエミ市観光交流パートナーシップ協定締結公式訪問団 5 名と山口商工会議所の川久保副会頭、上野専務理事、県立大学水谷国際文化学部長、ふるさと創生部の職員 3 名がフィンランド・ロヴァニエミ市を訪問。観光分野を皮切りに経済や文化など幅広い分野での交流の展開に役立てるため、11 月 8 日、ロヴァニエミ市エスコ・ロトゥヴオネン市長と観光交流パートナーシップ協定を締結した。

12 月 3 日

湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」でロヴァニエミ市による観光 PR 展を開催。会期中、サンタクロース村から本場のサンタクロースが来場し写真撮影会を開催。

平成 29 年(2017 年)

1 月 15 日から 1 月 19 日

済南市から「済南市青少年交流訪問団」(刘群阳団長、子供 12 人、随員 3 人)が来山。訪問団は、済南市青少年宮に所属している小・中学生で、徳地文化センターにおいて中央小学校の子どもたちと日本の伝統遊びなど交流を行った。中央小学校 6 年生は、人形浄瑠璃を披露した。また、折り紙や着付の体験などを行う。同世代の子供を持つ一般家庭へのホームステイも体験し交流を深める。

2 月 3 日

日本とフィンランドの交流促進のため駐日フィンランド大使館マルクス・コッコ報道・文化担当参事官が、市長を表敬訪問。

2 月 10 日

国際協力機構(JICA)のボランティアで、青年海外協力隊として 2015 年 1 月から 2017 年 1 月までラオスに派遣されていた藤村将志さんが、市役所に総務部長を表敬訪問。

2 月 16 日

スペイン大使館経済商務部及びスペイン貿易投資庁・投資局主催によるスペイン・ビジネス・セミナーが山口市・宇部市共催、山口県講演により開催。駐日スペイン国大使館ゴンザロ・デ・ベニート大使による挨拶、経済商務部商務参事官による講演などが行われた。

2 月 18 日から 20 日

スペイン王立水泳連盟のフェルナンド・カルペナ会長ら 5 名が市長を表敬訪問し、水泳スペイン代表チームが 2020 年東京五輪と 2021 年福岡世界水泳大会の事前キャンプを本市において実施することに関する覚書を本市と締結。2 月 19 日は練習施設・宿泊施設を視察。

2 月 20 日

山口県立大学をはじめ、山口市の工芸作家、アーティスト 20 組が、ロヴァニエミ市のアートデザインウィーク 2017 に作品を出品。(会場：ピルケ科学博物館、ロヴァニエミ市図書館ほか)

3 月 19 日

日本語を学ぶ外国人と行く「ふれあいバスツアー」を実施。萩市で萩焼上絵付け体験、萩城址でネームビンゴゲーム、城下町をボランティアガイドと散策し、市民と外国人の交流を深める。

6 月 2 日から 6 月 5 日

金賛執(キムチャンジブ)団長をはじめとする公州市親善交流訪問団(市民 8 人、随員通訳 2 人)が来山。秋に訪問予定の山口市民 10 人と、大殿のひわだやで、徳地和紙と桧皮を使った花飾りづくりを行い、山口市菜香亭において、浴衣の着付けも体験。山口サビエル記念聖堂、国宝瑠璃光寺五重塔などを見学、夜は、ほたる祭りを見学。

6 月 12 日

ベトナムのハノイ市からハノイキッズクラブの子どもたちが市役所を表敬訪問され、伊藤和貴副市長にハノイキッズクラブの学習の様子の写真を見せながら日本語で説明されたり、ハノイキッズクラブの子ども達全員で日本語の歌を歌ったりするなど、ハノイで学んだ日本語を披露された。

6 月 16 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊で、2017 年 7 月から 2 年間、灌漑施設の調査・設計・工事管理などを行うため、モザンビークのイニャンバネ州イニャンバネ市へ派遣される藤本順子さん、野菜の生産性向上を目的に、現地の方々にアドバイス等を行うため、ネパールのダディン群ダディンベシへ派遣される横田江莉子さんが、出発に先立って総務部長を表敬訪問。

7 月 12 日から 7 月 16 日

済南市から「済南市青少年交流訪問団」（孫衛東団長、子供 7 人、随員 2 人）が来山。訪問団は、済南市青少年宮に所属している小・中学生で、大殿小学校でロボットを利用した交流や済南市の生徒も自作のロボットを披露。NF デバイステクノロジーでロボットプログラミング体験などを行う。同世代の子供を持つ一般家庭へのホームステイも体験し交流を深める。

7 月 23 日から 7 月 28 日

第 3 回となる、東南アジア青少年訪問団（中学生 7 人、高校生 1 人、随員 2 人 計 10 人）が、シンガポール・マレーシアを訪問。シンガポールでは現地学校や日系企業を訪問、マレーシアでは、JICA 青年海外協力隊の隊員訪問やホームステイの体験を通して交流を深める。

8 月 2 日から 8 月 6 日

友好都市済南市へ、「山口市青少年交流訪問団」（小学生 1 人・中学生 3 人・随員 3 人）を派遣。済南市青少年宮でロボット製作に取り組む生徒と、ロボットを通じた交流を行うとともに、一般家庭でのホームステイのほか、済南市の美しい泉の見学や孔子のふるさと曲阜市の歴史文化遺産を見学。

8 月 4 日

ホストタウンにかかる取り組みの一環として市民とスペインとの交流や国際理解を進めるためにスペイン人国際交流員マリア・ルビオ氏が着任。王立水泳連盟との交渉、選手団受入れ時のアテンド、各種交流事業に取り組む。

8 月 7 日から 8 月 14 日

第 17 回となる、山口市海外都市ジュニアホームステイ訪問団（中学生 7 人、高校生 7 人、随員 3 人 計 17 人）が、オーストラリアを訪問。今年度はワラタ・テクノロジー・キャンパスの受入が実現しなかったため、シドニー市郊外にある現地学校を訪問し、日本文化披露などを通して現地の生徒と交流を深める。また、ホームステイ体験を行い、オーストラリアの一般家庭で異文化交流を行う。

9 月 29 日から 10 月 2 日

内田則子団長をはじめとする山口市親善交流訪問団 10 人（市民 8 人、通訳、随員 2 人）が公州市を訪問。百済文化祭の開幕式やパレードに参加し、6 月に来山した公州市民との交流を深める。また、世界遺産の宋山里古墳群や公山城などを見学。

10 月 15 日から 10 月 22 日

2018 年に山口市・宇部市で開催される第 20 回日本・スペイン・シンポジウムの諸準備のため山口商工会議所河野康志会頭をはじめとする第 19 回日本・スペイン・シンポジウム訪問団（18 人）をスペイン・マラガ市へ派遣。また、うち 7 人がパンプローナ市を訪問し、渡辺市長からの親書をパンプローナ市長ジョゼバ・アシロン・サエスに手渡した。

10 月 22 日

山口留学生交流会と共催で、「りんご狩りバスツアー」を開催。山口大学、山口県立大学の留学生およびその家族、留学生交流会会員が参加、大型バス 2 台で阿東のりんご園を訪れ、交流を深めた。

11 月 3 日から 11 月 12 日

競泳のスペイン代表チームのトレーニングキャンプを実施。滞在期間中は、水泳教室の開催や「きららインドアスイムミート」への参加、また市内観光や HOLA! スペインフィエスタやあじすふれあいまつりに参加するなど、市民とも交流を深めた。

12 月 2 日から 12 月 28 日

湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」で、「サンタクロースを描いたクリスマスカードコンクール」展を開催。初日には優秀作品（4 点）の表彰式を開催し、ロヴァニエミ市の公認サンタクロースからプレゼントを贈呈した。

12 月 21 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊で、2018 年 1 月から 2 年間、現地小学校で算数や理科の授業を行うため、パプアニューギニア独立国の東ニューブリテン州ヴナカナウへ派遣される小田孝浩さん、思春期保健指導や家族計画指導などを行うため、キリバス共和国の南タラワ・テアオラエレケへ派遣される、嶋谷南さんが派遣国への出発に先立って総務部長を表敬訪問。

平成 30 年(2018 年)

2 月 1 日から 2 月 8 日

2 月 2 日から 4 日に開催された第 32 回スペイン国王杯水球選手権を視察。6 日に、スペイン・マドリード市で、スペイン王立連盟とトレーニングキャンプ（競泳、アーティスティックスイミング、水球）実施に関する協定書を締結。

3 月 14 日

駐広島大韓民国総領事館、金宣杓（キム・ソンピョ）総領事が着任挨拶のため市長を表敬訪問。李載雄（イ・ジェウン）副総領事も同席された。

4 月 2 日

ホストタウンにかかる取り組みの一環として、市民とスペインとの交流や国際理解を進めるため、新たに国際交流員として、スペイン出身のエフライン・ビジャモール・エレロ氏が着任した。選手団との交流事業、市民を対象とするスペインの文化等啓発事業に取り組む。

4 月 17 日から 4 月 25 日

スペイン王立水泳連盟アーティスティックスイミング代表チームのトレーニングキャンプを実施。4 月 19 日には山口市長を表敬訪問。滞在期間中は、市内観光や山口市菜香亭での着物体験などの交流活動も実施した。

4 月 26 日

山口きらら博記念公園水泳プールで、アーティスティックスイミング・スペイン代表チームエキシビションを開催。1,000 人を超える観客が来場し、世界トップレベルの競技に魅了された。

7 月 12 日から 7 月 16 日

済南市から「済南市青少年交流訪問団」、姜永群（ジャン・ヨン・チュン）団長以下 10 名（子ども 7 名、随行 3 名）が来山。「音楽」をテーマに交流を行い、小郡南小では全校児童との音楽交流を実施。その他、山口大学邦楽部サークルの学生と日本の伝統楽器を通じた音楽交流や折り紙体験、表敬訪問、市内視察、文化体験、ホームステイを実施。

8 月 1 日から 8 月 5 日

友好都市済南市へ、「山口市青少年交流訪問団」（小学生 5 人・中学生 2 人・随行 3 人）を派遣。済南市青少年宮で音楽活動に取り組む生徒と、音楽を通じた交流を行った。また、一般家庭でのホームステイのほか、済南市の美しい泉の見学や孔子のふるさと曲阜市で三孔を見学。

9 月 15 日から 9 月 18 日

田中豊弼を団長とする 11 人（市民 8 人、通訳、随行 2 人）の市民訪問団を派遣。16 日に百済文化祭にパレード参加。公州市内視察、次年度受け入れる公州市の市民団とも交流を行う。

9 月 20 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として、2018 年 9 月から 2 年間、革製品加工の技術指導と人材育成を行うため、コロンビアのボゴタ市へ派遣される水野美加さんが、出発に先立ち山口市を訪問。

9 月 21 日

在日スペイン大使館のゴンサロ・デ・ベニート・セカデス大使、横山日本側座長、山口市長が、県庁で第 20 回日本・スペイン・シンポジウムのプレス発表を実施。

10 月 25 日から 10 月 27 日

公州市との姉妹都市締結 25 周年を記念して、公州市長 金廷燮(キム・ジョン・ソプ)団長以下 26 名の団員が山口市を訪問。明治維新 150 年記念事業・山口ゆめ花博覧会視察、表敬訪問、記念祝賀会等を開催。博覧会会場では、10 月 27 日に森のステージで公州市忠南燕亭国楽院が伝統音楽を演奏。

11 月 3 日

スペインフィエスタにおいて、スペインホストタウンの PR を行うため、国際交流員によるスペイン講座、スペインパズル遊び、パネル展示、3D プリンタによるサクラダファミリア製作を行うブースを出展し、当日は 175 名の参加者があった。

11 月 3 日から 11 月 5 日

水泳スペイン代表チーム事前キャンプ実施にむけた協議のため、スペイン王立水泳連盟のフェルナンド・カルペナ会長ら 2 名が来山。スペインフィエスタの会場では来場者にホストタウンやスペイン代表チームの PR も実施。

11 月 9 日

第 12 回山口市・公州市親善交流サッカー大会を公州市で開催。公州市民・公州市役所サッカー部との交流試合を開催。山口市から日韓親善協会が公募した市サッカー部・OB 混合チームとして 23 人が訪問。

11 月 14 日から 11 月 19 日

スペイン・シンポジウムの関連事業として、山口市菜香亭において、日本・スペイン外交樹立 150 周年記念パネル展及び和歌山県・四国巡礼路写真展「旅路」（同時開催）を行い、映像によるナバラ州・パンプレーナ市の紹介や日西就航通商航海条約資料パネル展示、和歌山県・四国による巡礼路の写真を展示。

11 月 21 日から 11 月 23 日

第 20 回日本・スペイン・シンポジウムを外務省・山口県・宇部市との共催で実施。開催地実行委員会の会長は山口市長。経済連携協定の発動を見据えた日西の今後の交流について議論された。

11 月 29 日から 12 月 14 日

水泳スペイン代表チームが山口きらら博記念公園水泳プールでトレーニングキャンプを実施するため来山。歓迎セレモニーでは、全国大会での優勝実績をもつ阿知須在住の渡辺京子さん一家による「けん玉」を披露。また、12 月 1 日は市内高校生を対象とした水泳教室、9 日は県交歓水泳競技大会へ参加、12 日には県立大学栄養学科との交流活動に参加するなど市民との交流も実施。

12 月 1 日から 12 月 25 日

湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」での「サンタクロースを描いたクリスマスカードコンクール」の作品展にあわせて、優秀作品（7 点）の表彰式を開催。表彰者にロヴァニエミ市の公認サンタクロースからプレゼントを贈呈。

12 月 19 日

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として、2019 年 1 月から 2 年間、看護後術や看護ケアの指導のためモンゴルのドルノド県へ派遣される松本沙織さんと、木工の技術指導と人材育成のためボツワナのマルベラに派遣される斎藤稜さんが、出発に先立ち山口市を訪問。

平成 31 年(2019 年)

3 月 22 日

国際協力機構（JICA）のシニア海外協力隊として、2019 年 4 月から 2 年間、若者の数学教育にあたるため、南アフリカ共和国のケープタウンへ派遣される藤井祐一さんが、出発に先立ち山口市を訪問。

3 月 22 日

済南市から中国共産党済南市委員会宣伝部や済南市ラジオ・テレビ局文化産業部をはじめとする訪問団が、山東省文化産業博覧会への招聘のため来山。

令和 1 年(2019 年)

4 月 29 日

公州・昌原市と姉妹都市締結の周年記念に当たり、姉妹都市交流を通じた国際理解を深めるため、どうもん JAZZ フェスタに、市日韓親善協会と共催で韓国姉妹都市 PR ブースを出展。

5 月 31 日から 6 月 3 日

全炳煥（チョンビョンファン）団長をはじめとする公州市親善交流訪問団(市民 8 人、随行通訳 2 人)が来山。前年公州市を訪問した山口市民 10 人と、重源の郷で紙漉き体験やそばうち体験を行うなど、交流を深めるとともに、国宝瑠璃光寺五重塔、一の坂川ほたる鑑賞 Week!を見学した。

6 月 25 日から 29 日

鄒平市から趙東（チャオトン）副市長を団長とする 9 名の視察団が来山し、山口市長・副市長を表敬訪問。市不燃物中間処理センターを視察。

7 月 7 日から 15 日

(一財)山口県水泳連盟が市内在学・在住の水球ユース選手をスペインに派遣し、スペイン王立連盟の協力により強化練習を行うとともに、スポーツを通じた交流事業を実施。

7 月 10 日から 14 日

済南市青少年宮の刘清兰（リュウチンラン）団長以下 11 名（子ども 7 名、随行 4 名）が、小郡小学校でダンス交流に参加。その他、表敬訪問、市内視察や文化体験、ホームステイを実施。

7 月 31 日から 8 月 4 日

山口市青少年訪問団 10 名（小学生 7 名、随行 3 名）が中国・済南市を訪問し、済南市青少年宮で「ダンス」をテーマに交流し、日本伝統の能や J ポップダンスを発表。一般家庭でのホームステイ体験や、済南市内の大明湖や趵突泉、曲阜市の三孔などを視察した。

8 月 4 日

レノファ山口ホーム戦の「山口サンクスデー」において、山口スペイン・ナバラ協会の協力を得て、スペインホストタウンの PR ブースを出展。

11 月 3 日

スペインフィエスタにおいて、スペインホストタウンの PR を行うため、国際交流員によるスペイン講座、スペイン選手応援メッセージの作成、パネル展示を実施。また、同時に中村女子高等学校の生徒がご当地キャラクター「ゆう太」、「ゆう子」が着用できる“スペイン応援衣装”を制作するため、15 のデザインの中から人気投票を実施。

11 月 30 日

山口県障害者支援課と山口県国際課が連携したホストタウンコラボイベントに山口市もスペイン PR ブースを出展。また、本市国際交流員のエフラインがパンプローナ市在住のパラリンピックアスリートのイサスクン・オセス・アユール選手（陸上競技）とのトークショーに登壇。

令和2年(2020年)

1月18日

山形県画室学校の郭曉雯校長以下10名が修学旅行で山口市を訪問、市長への表敬訪問、YCAMや市内の薙刀教室で体験研修を実施。

2月15日～16日

パンプローナ市との姉妹都市締結40周年記念事業として、JamGlobal社(本社:スペイン)との共催により、パンプローナ市が位置するスペイン北部のバスク地方から取り寄せたグルメ食材の試食会「美食バスクin山口」を実施。

2月15日～16日

パンプローナ市との姉妹都市締結40周年記念事業として、スペイン・ビルバオ在住のスペイン人講師と市国際交流員が、日本でも人気のバスクチーズケーキを応募のあった市民と一緒に作る講座「家庭でもつくれるバスクチーズケーキづくり講座」を実施。

2月19日

パンプローナ市姉妹都市締結40周年記念事業として、締結日の2月19日に、市内の全公立小中学校において、スペインメニューの学校給食が提供された。また、大殿小、平川中では、国際交流員が学校に訪問し、姉妹都市交流の歴史やホストタウンの取組みなどについて講座を行った。

2月20日

ホストタウン周知イベントPRでご当地キャラクター「ゆう太」、「ゆう子」が着用できる“スペイン応援衣装”を中村女子高等学校の生徒が制作。その“スペイン応援衣装”を山口天使幼稚園の行事内において初披露した。

3月19日

スペイン・ホストタウンの機運を醸成するため、市内小中学校及び特別支援学校の児童・生徒を対象に募集した「スペイン応援ポスター」に応募された全79作品をウェブ展示。阿知須小学校2年の藤重和陽さんの作品が最優秀賞に輝いた。

7月12日

ホストタウンの取組みとしてスペインについて知る機会を提供するとともに、国際社会において外国語で自分の意見を相手に伝えることができるグローバル人材の育成を目的に、市内高校生を対象に「英語で話そう!スペインオンライン講座」を実施。

10 月 1 日～20 日

姉妹都市パンプローナ市写真コンテスト人気投票 “パンプローナ市から届いた写真に「いいね!」をしよう”を実施。やまぐち図書館を介しパンプローナ市から届いた「山口市民に自慢したいパンプローナ市の風景」写真に SNS 等で人気投票を実施。743 件の投票があり、上位 10 作品に山口から記念品を贈呈。

10 月 1 日～20 日

「#私の好きな山口市」 写真コンテストを実施。スペイン・パンプローナ市との姉妹都市締結 40 周年を記念し、パンプローナ市民にぜひ見てもらいたい、自慢したい山口市の魅力あふれるステキな写真を募集。71 点の応募があり 16 点が入賞した。

10 月 17・18 日

山口ゆめ回廊博覧会の一環として開催された Komezuki 祭に「国際交流ブース」を出展。お米にちなんだスペイン料理をはじめ、市と県国際交流員も参加して世界各国の料理の試食を来場者に楽しんでいた。

11 月 24～28 日

2019 年に市内小中学校及び特別支援学校の児童・生徒を対象に募集した「スペイン応援ポスター」の入賞作品 5 点を名田島地域交流センターで開催された「名田島田園芸術祭」で展示。

令和 3 年(2021 年)

2 月 5 日

ホストタウンの取組として、聖フランシスコ＝サビエルと大内義隆をイメージしたキャラクターを使用したオリジナル L I N E スタンプを作成・販売。L I N E スタンプにより、本市のホストタウンの取組や、聖フランシスコ・サビエルが結んだスペインと本市の歴史的な背景を市内外に情報発信した。

2 月 12 日

パンプローナ市との姉妹都市締結 40 周年を記念し、パンプローナ市とのこれまでの交流の歩みをまとめた小中学生向けの記念誌を作成。配布に合わせ本市のスペイン人国際交流員が、山口大学教育学部附属山口小学校 5 年生に記念誌の紹介を通じ、パンプローナ市との交流の歩みや魅力の P R を行った。

2 月 18 日

日本郵便株式会社中国支社が山口市がスペイン王国のホストタウンに登録されたことを記念して、フレーム切手を作成した。この切手の販売を記念し、山口市長へ切手の贈呈が行われた。

2 月 21 日

内閣府官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が主催する「ホストタウンサミット 2021」における「おもてなし料理コンテスト」に参加し、山口県立大学 課外活動「山口ナバラーコラボ広場」の学生が開発した「世界のおもてなし料理（相手国料理と郷土料理）」をオンラインにて全国発表を行った。

3 月 12 日

パンプローナ市との姉妹都市締結 40 周年を記念し、締結のきっかけとなったサビエルと大内義隆のつながりを紹介するために制作した紙芝居をオンライン贈呈式にて、パンプローナ市に所在するやまぐち図書館等へ寄贈した。

紙芝居の制作は、2019 年に山口県立大学ナバラ・コラボ広場の学生が前年度に山口市ホストタウン普及活動支援補助金を活用して作成された絵本をもとに同学生がデザインしたもの。

3 月 25 日

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会におけるスペインのホストタウンとしての機運を醸成するため、ホストタウンの啓発用の横断幕を新山口駅南北自由通路に、バナーをパークロード・湯田温泉に、のぼり旗を各地域交流センター及び各総合支所に設置した。

3月28日

市内の飲食産業の振興とともに本市がスペインのホストタウンであることの周知を図ることを目的に「湯の街ワイン通り」を湯の街ワイン通り実行委員会との共催により実施。スペイン中心としたワインや世界のグルメを味わえるブースの設置とともに、スペインのPRポスターやホストタウンののぼり旗を会場内に設置し、周知を行った。

5月13・14日

水泳スペイン代表(アーティスティックスイミング)から南総合支援学校の児童・生徒に宛てた手話を交えたメッセージビデオが届いたことから、ビデオの披露に合わせて、国際交流員が山口とスペインの関係について出前授業を行った。

5月28日

スペイン・ナバラ州にあるサビエルの生家「ハビエル城」とのライブ中継によるオンラインツアーを実施した。「ハビエル城」紹介に合わせて、山口市とサビエルの関係についてを市内外に情報発信する機会となった。

6月2日～13日

山口市立中央図書館にて、水泳スペイン代表チームへの市内小学校・中学校の児童・生徒の皆さんを中心とした市民の皆さんからの応援メッセージ・ポスターを展示した。

6月20日～7月16日

東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるスペインのホストタウンとしての機運を盛り上げるため、米屋町商店街、道場門前商店街、中市商店街にホストタウン応援バナーを設置した。

6月24日

東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的とした「山口市ホストタウン普及活動支援補助金」の交付先として市内2事業者を決定し、認定式を実施。

6月30日

パンプローナ市との姉妹都市締結40周年を記念し、フランシスコ・サビエルと大内義隆謁見の場面をジオラマ風に製作した大内塗人形を山口スペイン・ナバラ協会会長からパンプローナ市の副市長へ贈呈した。贈呈式は製作者の谷口氏同席の上、オンラインで実施。

7月15日

水泳スペイン代表の練習会場である山口きらら博記念公園水泳プールに、東京2020オリンピックでの活

躍を願って、市民から寄せられた応援メッセージ、小・中学生による応援ポスター、スペイン国旗への寄せ書き、山口天使幼稚園が制作した七夕飾り、スペイン語の横断幕などを設置した。

7月15日～21日

水泳スペイン代表（競泳）が東京2020オリンピックに向けた事前キャンプを行った。

7月17日

水泳スペイン代表（競泳）の歓迎セレモニーを山口きらら博記念公園水泳プールで開催した。会場内のオーロラビジョンで市長の激励メッセージと中村女子高等学校の応援動画を上映した。

7月22日～28日

水泳スペイン代表（アーティスティックスイミング）が東京2020オリンピックに向けた事前キャンプを行った。

7月24日

水泳スペイン代表（アーティスティックスイミング）の歓迎セレモニーを山口きらら博記念公園水泳プールで開催した。会場内のオーロラビジョンで市長の激励メッセージと山口南総合支援学校の応援動画を上映した。歓迎セレモニーの後に、アーティスティックスイミングの演技や選手の自己紹介、市民へのメッセージ、練習の様子などをYouTubeでライブ配信した。

8月19日～22日

ハワイ州マウイ島と山口の高校生がオンライン交流を通じて文化の違いを学ぶ講座「イングリッシュ・サマースクール」を山口県立大学国際文化学部の学生の協力を得て開催した。

9月3日～11月27日

水泳スペイン代表選手から市民に向けた直筆のメッセージを巡回展示した。（中村女子高等学校、阿知須中学校、宮野地域交流センター、名田島地域交流センター）

11月5日

「魅力あるオランダの日常」と題して、オランダ在住の末永さんによるオンライン講演を開催した。

11月9日

駐日EU代表部主催の出前講座「EUがあなたの学校にやってくる」の講師として来山されたドラジェン・フラスティッチ駐日クロアチア大使が市長を表敬訪問された。

11月14日

スペイン・バレンシアを拠点に活躍中のプロテニスプレーヤー松葉海奈選手によるオンライン講演を開催した。

令和4年(2022年)

1月22日

山口市の姉妹都市である中国・済南市、韓国・昌原市、スペイン・パンプローナ市と、ダンスをテーマとしたオンライン交流を実施。

2月7日

2021年6月に就任された駐広島大韓民国総領事館林始興（イム・シフン）韓国総領事が市長を表敬訪問された。鄭副領事と下関韓国教育院崔院長が同席された。

3月31日

えびす橋の「スペースパンプローナ」にパンプローナ市出身の著名な歌手 Amaia Romeo さんを紹介するプレートを設置した。彼女はパンプローナ市にあるヤマグチ公園を歌った「Yamaguchi」という曲を2022年1月にリリースした。

4月15日

1月22日に実施した姉妹・友好都市のオンライン交流を記念して、参加4都市（山口市、中国・済南市、韓国・昌原市、スペイン・パンプローナ市）で1曲を踊るダンス動画を制作した。

6月21日

韓国昌原市長として新たに就任された洪南杓（ホン・ナムピョ）氏へ市長からの祝辞をビデオメッセージとして送付した。

8月1日

ホストタウンとして実施した交流事業で培われたつながりの更なる発展に向けた取り組みの一環として市民とスペインとの交流や国際理解を進めるためにスペイン人国際交流員ヘマ・ガルベス・ルイス氏が着任。国際理解の推進と多文化共生の推進に向けた各種事業に取り組む。

8月8日～10日

ハワイ州マウイ島と山口の高校生がオンライン交流を通じて文化の違いを学ぶ講座「イングリッシュ・サマースクール」を山口県立大学国際文化学部の学生の協力を得て開催した。

10月17日

フランス・リセ・ラ・ムネ・プロエルメル高校（以下、「ラムネ高校」）と山口高校の生徒が「学校紹介」と「自分の好きなこと」をテーマにオンラインで交流した。ラムネ高校の生徒は授業で日本語を学んでお

り、英語と日本語を交えながら互いの文化に触れあう機会となった。

10月28日

世界河口都市協力発展大会が中国山東省で開催されるに当たり、市長メッセージと樫野川紹介ビデオを提供した。

11月26日

多文化共生推進委員会やまるち主催で「人をつなぐウォークラリー」が開催された。日本人と外国人市民27名が一緒に市内の観光スポットや商店街のチェックポイントを回り、ウォークラリーを楽しみながら交流した。

12月5日

10月に続いて、フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒のオンライン交流を実施。自分達の通う学校や学校生活について動画で紹介した。

12月8日

フランス・エコル・ド・ミンヌ大学と山口大学人文学部の学生がオンライン交流を行った。日本語とフランス語を交えながらお互いの文化を知る機会となった。

12月10日

「スペイン・マドリッド・オンライン・ツアー」と題して、スペイン在住のマリア・ルビオさんによるスペインのクリスマスの祝い方や、クリスマスマーケットを紹介するライブ配信を実施。

12月12日

フィンランド・ロヴァニエミ市公認のサンタクロースが市内の幼稚園・保育園を訪問し、園児たちと交流した。また、同日行われたクリスマスカードコンクール表彰式に参加した。

12月20日

山口県立山口南総合支援学校の生徒に、水泳スペイン代表アーティスティックスイミングチームから9月に送った絵葉書に対してお返事が届いた。

令和 5 年(2023 年)

1 月 16 日

ホストタウンにかかる取り組みの一環として市民とスペインとの交流や国際理解を進めるために 2022 年 6 月末で退任していたスペイン人国際交流員マリア・ルビオ氏が再度着任。王立水泳連盟との交渉、選手団受入れ時のアテンド、各種交流事業に取り組む。

1 月 17 日～1 月 27 日

中国山東省済南市から春節飾りをいただいたことから、姉妹都市と春節のお祝いについて紹介する展示を市民ホールで実施。

2 月 6 日

フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒の 3 回目のオンライン交流を行い「クリスマスとお正月の過ごし方」や「将来の夢」をテーマに英語と日本語で交流した。

2 月 1 日～2 月 27 日

「山口と海外のつながり」として、姉妹都市提携 30 周年を迎える韓国公州市をはじめ、姉妹都市についてや国際交流課の交流事業について山口市立中央図書館で紹介展示した。

2 月 8 日～2 月 23 日

韓国公州市との姉妹都市提携 30 周年を記念して、山口情報芸術センターでの韓国映画「三姉妹」来場者に対し、公州市を紹介する観光パンフレットをはじめとした記念品を進呈した。

2 月 11 日

韓国公州市との姉妹都市提携 30 周年を記念して、メイクをテーマとしたオンラインによる交流事業を実施。山口市からは YIC ビューティモード専門学校大宮友美子氏を講師として歌舞伎の隈取メイク、公州市からは韓国映像大学校キム・ヨニ氏から韓国での日常的なメイクについての指導をいただき、16 名の参加者が体験した。

2 月 18 日～2 月 19 日

KDDI 維新ホール開館 2 周年を祝う「感謝デー」の開催テーマを「スペイン」とし、山口芸術短期大学芸術表現学科の学生にスペインを紹介するオブジェの制作、市と県国際交流員によるスペイン紹介講座の実施やパンプローナ市出身の著名な歌手 Amaia Romeo の歌を動画で紹介した。

3 月 12 日

「外国人住民のための防災教室」を（公財）山口県国際交流協会と共催で開催した。119 番通報訓練や起震車を使って震度 7 の揺れを体験してもらうなど、日本で暮らす上で必要となる防災情報を外国人市民に伝えた。

3 月 27 日

日本語を学んでいる韓国・金海外国語高校の生徒と、山口高校の生徒がオンライン交流を行い、日本語を中心に自己紹介やお互いの国の学校生活を紹介した。

4 月 18 日

在京都フランス総領事館ジュール・イルマン総領事が市長を表敬訪問された。

5 月 10 日

在大阪フィリピン総領事館ヴォルテール・デラクルス・マウリシオ総領事が市長を表敬訪問された。フィリピン総領事としては、初めての山口訪問となる。

5 月 24 日

韓国公州市の崔源哲（チェ・ウォンチョル）市長を団長とする公州市親善訪問団が市長を表敬訪問され、大百済典への招待を受けた。

7 月 2 日～7 月 9 日

世界水泳選手権 2023 福岡大会に向けたアーティスティックスイミング・スペイン代表チーム（選手 14 人・スタッフ 6 人）の事前キャンプ受入を実施。7 月 3 日に阿知須空手道スポーツ少年団による空手の演武披露等の歓迎レセプション、7 月 6 日にアーティスティックスイミング選手代表者 6 名による阿知須中学校との交流事業が行われた。また、7 月 7 日に山口きらら博記念公園水泳プールにて山口県知事御出席の下、世界トップクラスの演技を間近で見る機会となったエキシビションが行われた。

7 月 6 日～7 月 12 日

世界水泳選手権 2023 福岡大会に向けたオープンウォータースイミング・スペイン代表チーム（選手 3 人、スタッフ 5 人）の事前キャンプ受入を実施。7 月 7 日に嘉川保育園園児（年長）によるスペイン語での歓迎の挨拶等の歓迎レセプションが行われた。7 月 9 日に当初予定されていた中村女子高等学校との交流事業は荒天により中止となったが、山口市菜香亭での浴衣の着付等日本文化体験が行われた。

7月14日～7月21日

世界水泳選手権 2023 福岡大会に向けた競泳スペイン代表チーム（選手 20 人、スタッフ 10 人）の事前キャンプ受入を実施。7 月 16 日に山口県立大学の学生との交流事業により、浴衣の着付や日本の遊び体験、7 月 17 日に阿知須空手道スポーツ少年団による空手の演武披露等の歓迎レセプション、競泳チームコーチによる小郡中学校生徒への水泳教室、7 月 17 日と 19 日には洞春寺での座禅体験が行われた。

7月21日

市長を会長とした世界大会等キャンプ地誘致推進委員会、及びホストタウン推進室、県水泳連盟、市担当者（計 24 名）で「世界水泳選手権 2023 福岡大会」におけるアーティスティックスイミング「チームフリー決勝」を現地で応援した。

8月1日～5日

ハワイ州マウイ島と山口の高校生がオンライン交流を通じて文化の違いを学ぶ講座「イングリッシュ・サマースクール」を山口県立大学国際文化学部の学生の協力を得て開催。

9月1日

台湾出身者ならではの視点で山口市の魅力を発信することで、台湾からの観光客の増加を目的として、盧韋合（ロ・イゴウ）氏を国際交流員として任用した。

10月6日～8日

伊藤市長を団長とする山口市・公州市姉妹都市締結 30 周年記念訪問団（8 人）を韓国公州市へ派遣。記念式、及び記念植樹への出席、大百済典や済民川再生事業等の視察を行った。

11月6日

在名古屋ペルー共和国総領事館ルイス・エスピノサ・アギラール総領事が市長を表敬訪問された。

12月1日

スペイン・パンプローナ市出身の歌手アマイア・ロメロ氏が民間団体の招聘により市内でコンサートを開催されるにあたり、市長を表敬訪問された。

12月3日～26日

フィンランド・ロヴァニエミ市公認のサンタクロースが市内の幼稚園・保育園を訪問し、園児たちと交流した。また、サンタクロースは 12 月 3 日に開催されたサンタクロースを描いたクリスマスコンクール展の表彰式に出席し、優秀作品（10 点）の入賞者にプレゼントを贈呈した。なお、同コンクールに応募された全作品を後日、ロヴァニエミ市へ贈呈した。

12月12日

フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒のオンライン交流を実施。自分達の通う学校や学校生活について紹介された。

12月10日

「オーストラリア・シドニーから真夏のクリスマス！」と題して、オーストラリア在住の高山亜由美氏（山口市出身）によるオーストラリアの概要紹介、及びシドニー・ロックスマーケットからのライブ配信を実施。

12月19日

山口大学の招へいで来日していた山東大学事務部高岑（コウ・シン）氏、辺華茹（ヘン・シンジヨ）氏が交流創造部長を表敬訪問された。

令和6年(2024年)

1月16日

山口県とスペイン・ナバラ州との姉妹提携が20周年を迎えたことから、平屋隆之副知事を団長とする訪問団に山口市長からナバラ州チビテ・マリア知事、パンプローナ市ヨセバ・アシロン市長への親書を託した。

1月23日

中華人民共和国駐日本国大使館宋耀明（ソウ・ヨウメイ）公使、在日中国企業協会王家馴（オウ・カジュン）会長他、中国国営企業等の関係者（9名）が市長を表敬訪問された。

1月23日

フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒のオンライン交流を実施。日本とフランスの年末年始の伝統的な過ごし方についてお互いに紹介した。

3月13日

山口県とスペイン・ナバラ州との姉妹提携締結20周年を記念して、アナ・オジョ・ウアルデ第二副首相を団長とするナバラ州訪問団（6名）が山口県を訪れるに当たり、市長を表敬訪問された。滞在中には、瑠璃光寺五重塔の視察や、パンプローナ市にあるサン・ファン・デ・ラ・カデナ公立小学校と交流のある山口大学教育学部附属山口小学校への訪問、山口スペイン・ナバラ協会との交流が行われた。

3月19日

フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒のオンライン交流を実施。日本とフランスの年末年始の伝統的な過ごし方についてお互いに紹介した。

5月10日～12日

令和6年1月9日、ニューヨーク・タイムズ紙「2024年に行くべき52か所」の3番目に山口市が選出。アメリカ現地で開催される「ジャパンパレード&ストリートフェア2024」に参加。在ニューヨーク総領事館、ニューヨーク・タイムズ社をはじめとする各関係機関への表敬訪問も併せて実施した。

5月29日

フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒のオンライン交流を実施。自己紹介、日本の訪れたい土地、お勧めの観光地についてお互いに紹介した。

6月1日

大阪・関西万博を契機とした万博国際交流プログラムを活用し、山口市・パンプローナ市姉妹都市締結45周年プレ事業として、スペイン・マドリードにあるコンプルテンセ大学教授フロレンティーノ・ロダオ・ガルシア氏を招聘して、国際交流講演会「日本とスペインの500年の交流史～相互のビジュアルイメージから学ぶ～」を開催した。

6月1日

駐日スペイン大使館文化参事官ヘスス・ミゲル・サンツ・エスコリウエラ氏がフロレンティーノ・ロダオ・ガルシア氏の講演会傍聴のため山口を訪れ、フロレンティーノ・ロダオ・ガルシア氏とともに市長と面談した。

7月22日

JICA青年海外協力隊としてラオスへ派遣される川口泰広さんが市長を表敬訪問された。

8月13日～9月12日

山口県海外技術研修員ゴディネス・キスペ・セレネ・キシオマラさんを、環境技術研修のため、上下水道局にて受入を行った。

8月6日～8月8日

韓国・公州市との姉妹都市締結30周年記念として崔源哲（チェ・ウォン Chol）公州市長を団長とする公式訪問団（8名）と公州市忠南燕亭国楽団（17名）の受入れを行った。記念式、記念植樹の実施、及び公州市忠南燕亭国楽団による韓国伝統音楽の演奏会を行った。

8月23日～8月25日

韓国・昌原市との姉妹都市締結15周年記念として伊藤市長を団長とする公式訪問団（8名）を派遣。同日程で、山口市バレーボール協会所属チームから選抜された選手等（22名）を昌原市へ派遣し、山口市・昌原市姉妹都市締結15周年記念親善交流バレーボール大会を開催した。

9月27日～9月30日

韓国・公州市へ遠藤愛美さんを団長とする山口市親善交流訪問団（9名）を派遣した。百済文化祭の開闭幕式観覧や食文化をテーマとした体験が行われた。

10月16日

フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒のオンライン交流を実施。夏や秋の行事について、及び夏休みや休日の過ごし方についてお互いに紹介した。

10月12日～10月16日

伊藤市長がアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市を訪問し、山口市とホノルル市の友好都市提携に向けて現地を視察し、ホノルル市長等、関係者と面談し、関係づくりを行った。

10月19日

韓国・昌原市議員団（15名）が広島県呉市で開催される朝鮮通信使に参加される機会を利用して、山口市を訪問され、山口市議会議員有志（8名）との交流を図った。

10月24日

エリック・パケ駐日欧州連合特命全権大使（EU大使）が市長を表敬訪問された。

10月24日～10月26日

陳静副市長を団長とする鄒平市訪問団が市長を表敬訪問するとともに、市民の健康づくりをテーマとして、KDDI 維新ホールの機能、メディフィットラボ視察、介護人材確保・育成支援事業、地域医療を支える取組等を紹介した。

10月27日～10月29日

トミー・ウォーターズホノルル市議会議長を団長とするホノルル市議会訪問団（6名）及びゲイル・ワカタケ会長をはじめとするホノルル山口県人会訪問団（3名）が市長を表敬訪問され、友好都市提携に向けた意見交換を行ったほか、山口情報芸術センター等を視察された。

11月1日～11月3日

スイス観光賞の受賞により表彰式に出席。11月1日の表彰式への出席と併せて、スイス国際ホリデー展示会への本市ブース出展による観光プロモーションを実施した。

11月6日

駐日ウズベキスタン共和国大使館サイドフ・バホディル貿易経済担当参事官が市長を表敬訪問された。ウズベキスタン共和国大使館関係者の市長表敬は初めてとなり、市長表敬後に山口テクノパークを視察された。

11月6日

外務省と山口県による共催で、駐日大使による山口県視察ツアーが実施された。山口市訪問の折に、市長による歓迎の挨拶の他、山口驚流狂言鑑賞、瑠璃光寺五重塔視察、山口ふるさと伝承総合センターでの大内塗体験が行われた。

11月13日

青年海外協力隊としてエチオピアへ派遣される中原通子さん、セルビアへ派遣される上野晋平さん、ブラジルへ派遣される柴崎育美さんが市長を表敬訪問された。

11月22日

チャンドル・アッパル在大阪・神戸インド総領事館総領事が市長を表敬訪問された。

11月22日

フィンランド・ロヴァニエミ市公認のサンタクロースが市内の幼稚園・保育園を訪問し、園児たちと交流した。また、サンタクロースは12月1日に開催されたサンタクロースを描いたクリスマスコンクール展の表彰式に出席し、優秀作品（7点）の入賞者にプレゼントを贈呈した。なお、同コンクールに応募された全作品を後日、ロヴァニエミ市へ贈呈した。

12月19日

2024年度日米次世代政治リーダー交流プログラム米国代表团（7名）が市長を表敬訪問された。

令和 7 年(2025 年)

1 月 24 日

フランス・ラムネ高校と山口高校の生徒のオンライン交流を実施。クリスマスやお正月の過ごし方についてお互いに紹介した。

2 月 15 日～2 月 16 日

大阪・関西万博を契機とした万博国際交流プログラムを活用し、山口市・パンプローナ市姉妹都市締結 45 周年記念事業として、KDDI 維新ホール感謝デーにてスペイン紹介イベントを開催した。ヨセバ・アシロン・サエス・パンプローナ市長からのビデオメッセージ、パンプローナ市内にある俳句団体「ハイクンベルサシオネス」から写真俳句、日本文化協会「ニホンニッポン」から書道作品、日本語教室からビデオメッセージを提供いただき展示した。